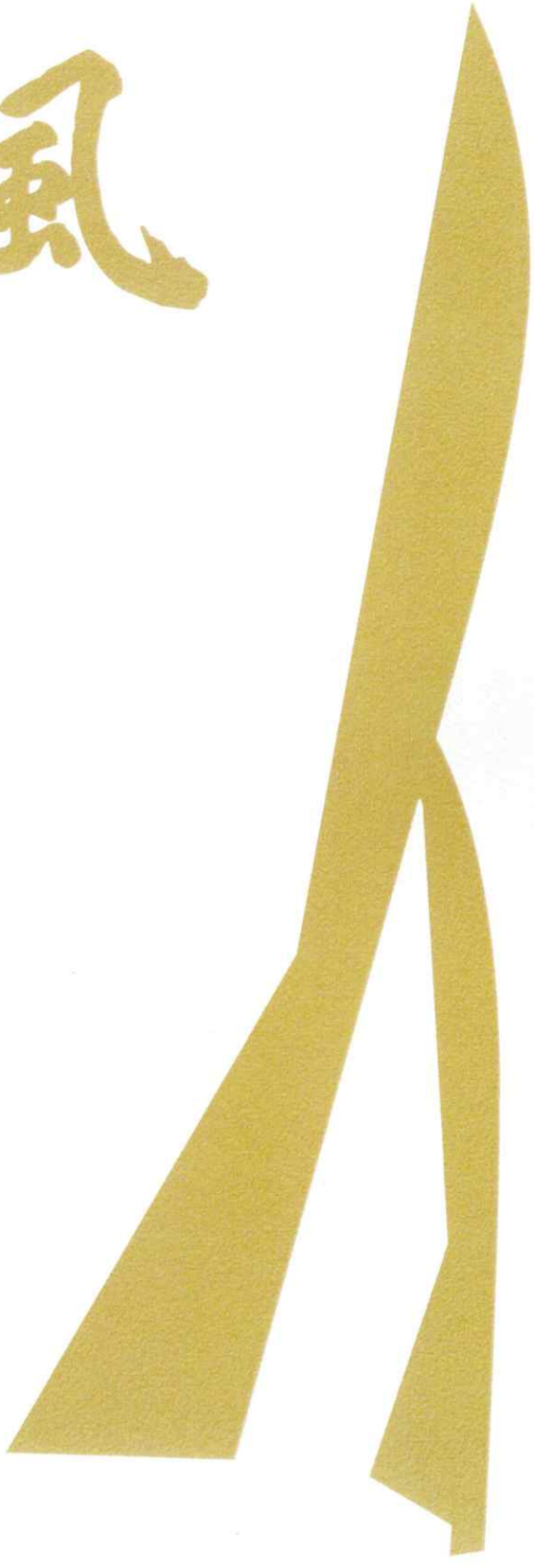
琴風

第50号



長崎大学ヨット部

目　次

1	会長挨拶	肥田　剛一
2	ヨット部ありがとう	金城　伶旺
3	主将挨拶	小倉　直人
4	牛島先生へ	藤原　久郎
5	収支報告	
6	阿南・矢津田メモリアル基金とバラモン基金	
7	近況報告	岡本美佐緒・細波文雄・藤原久郎 八幡和幸・高月義弘
8	単独日本一周航海記	本田由紀夫
9	卒業生より	近藤大・廣江佑衣・濱田翔太
１０	活動報告・大会成績表	
１１	琴風会会則	
１２	琴風会役員	

琴風会会長挨拶

会長　肥田剛一

今年は創部７０周年記念の年となりました。現役部員も盛り上げてお祝いしようと張り切っています。コロナ対策も緩和され、日常が戻りつつあるこの機会に、ぜひ皆さんに子々川に集まって楽しんでいただけるよう、たくさんの企画も準備しています。

また、７０年の月日により年齢層も幅広くなっています。お会いできる機会を大切にせんばいかんなあ･･･と私自身つくづく感じています。あのとき会っておけばよかったなあ･･･と思うこともしばしばあります。潮の香りの思い出話に浸り、ゆっくり杯を傾けませんか。そして、♪右だろうと左だろうと我が人生に悔いはない♪と思える仲間たちと、楽しいヨット部時代にタイムスリップしませんか。生きてるかぎりは青春です！心より皆様の参加をお待ち申し上げます。

さて、会長としての目標を皆様にお伝えします。

① たくさんの新入部員を集めるためのお手伝いをする。

② お互いの近況を確かめられるよう工夫する。

この２つです。そのための活動を紹介します。

まず新入部員勧誘です。新入生歓迎クルージングを４月一杯開催しました。貝原氏・岡田氏を始めとする長崎在住のＯＢが送迎や乗船と、毎週子々川にきてサポートしてくれました。写真のように笑顔と元気が、今の子々川にはあふれています。ご安心ください。皆様のこころのふるさとをみんなで大切に守っています。

次に、情報交換です。まず、ホームページを頻繁に更新し情報提供しています。現役部員もフェイスブック・ツイッターのＳＮＳを利用して情報配信しています。また、情報交換ツールの一つとして、メールに加えＬＩＮＥも利用しています。現在１００名近い会員様のＬＩＮＥアドレスを登録させていただきました。総会の日程。練習日程などリアルタイムで情報交換できます。ふるってご参加ください。もちろんアナログによる情報交換も大切です。現役部員と貝原氏監修のヨット部誌「琴風」にはじまり、電話・ハガキによる近況報告も続けさせていただきます。

最後になりますが、現役諸君はヨットに乗るたび、この活動を日本各地から支えていただいているＯＢの皆様に感謝しています。その気持ちを伝えたい気持ちでいっぱいです。今年は新艇４７０の寄贈もありました。会ってお礼の気持ちを伝え、子々川の魅力、世代を超えたヨットの楽しさを語り合いたい！と意気込んでいます。ロマン長崎、そして皆様の心のふるさと子々川でお会いできる日を楽しみにしています。

俺たちヨットマンだよ　風と波の仲間　子々川で会い　　親しき仲間たち

ＧＯ　ＡＨＥＡＤ

「ヨット部ありがとう、楽しいセーリングライフこんにちは！」のご挨拶

歯学部５年　金城　伶旺

この度、長崎大学ヨット部を卒業？引退？して晴れて、琴風会の仲間入りを果たした金城です。先輩方、これからどうぞよろしくお願いします。私は歯学部なので卒業はまだですが、無事に 5 年生に上がれて、ほっと一息ついたのも束の間、CBT なる関門を突破せねば臨床実習に進めないということで、またもや留年の危機に面しております。（おそらく、これで 3 度目）私が本当に留年すると焦ったのは、忘れもしない 2 年生前期のコミュニケーション英語Ⅲ（通称コミュ英）です。

期末考査は和文英訳みたいな英作文で、試験問題は M 先生が前回の授業で、期末試験はこれを出します的なのを言っていた英文たちが出されました。周りの友達が必死に英文を覚えているのを後目に、私は「こんなんアドリブで書いても余裕で受かるっしょ」的な発想で慢心して、何も準備をせずに臨みました。はじめは予定通りアドリブで書いていって、楽勝〜♬と思っていましたが、だんだん退屈になっていき、ちょっと難しい文法使おうかなとか、凝った内容で書こうかなとかやってるうちに、半分ちょいしか解けずに時間切れになって、コミュ英を落としました。3 年のカリキュラム的に再履修ができないので本気で留年したと思いました。結局、そのあと TOEIC を勉強して単位認定をもらえたので留年は回避したのですが、ここまで何の話がしたいのかというと、準備を怠ってはいけないよね。的な話です。現役のみんなはしっかりチームで目標を立てて、それに向かってしっかり準備して取り組んでもらいたいです。

自分のインカレ出場の夢は、昨年 9 月の鹿屋の九州予選で敗退し、終わりました。同期の近藤と 2 年の原がスキッパーをしてくれて、なんとか 3 艇揃いましたが、シーズン前からチームの状況はあまりよくありませんでした。2 年の原はまだまだ初心者感が抜けない様子で、大は研究とか院試などもあり、ろくに練習も積めていませんでいた。自分は練習には行っていましたが、諸事情であまり乗れてはいませんでした。正直に言えば出せる限りのメンバーで、万全の準備を積んで大会に臨みたかったです。普段の練習から、レースメンバー3 艇固定して、スピードトレーニング、レース練習をみっちりしたかった。レースが始まってたまに上位を走ることもありますが、凡ミスで順位をごっそり落としたり、スタートから死んでるレースも多かった。もちろんチームの順位もドベだし、個人の順位も下から数えたほうが早かったです。正直、レースや大会が終わってもなにも悔しくなかったです。

でも、それでもレース中、直人とリーチングで今までの最速スピードでかっ飛ばしたり、後ろの方で西南の同じくらいのレベルの奴とカバーしあったり、福大のＡちゃんが後ろから追いついてきて、直人が喜んでいたり、なんだかんだ楽しかった。悔しくはなかったし、自分が本当にヨットが好きだと感じれました。（一緒に乗ってくれた直人、遅いスキッパーだったけど、本当にありがとう。）また、みんなでレースに出て、最後までやりきった

こと、最後に堤防で大と肩を組んだことなどは悔しさなんかではなく、誇らしさが胸にありました。このチームで最後までやりきったことは、他のチームの実力とか結果などと比べて、憂いたりするものじゃなく、誇っていいことだと感じました。

それでも主将という立場でありながら結果を残せずに、日ごろから多大なるご支援いただいている琴風会の皆様には大変申し訳なく思いました。お世話になった分、超一流の歯科医師になって、また鬼速い先輩セイラーとして、しっかり後輩たちに貢献していくので、ご勘弁ください。

本当に楽ばかりじゃないヨット部生活でしたが、この 4 年間は満足でした。強豪校のセーラーが羨むほど伸び伸びとヨットに乗れたと思います。ひかりさんや大、同期のゆいP、はまD、一緒に乗ってくれた直人をはじめ後輩たち、お世話になった貝原さんや岡田さん、ほか日本各地の素晴らしいヨッ友（ネット民含む）と出会えたこと、一緒にセーリングできた時間はかけがえのない宝です。しかし、この 4 年間のセーリングに関しては全然満足していないし（コロナで 1 年くらい乗れなかったし！）、まだまだ上手くなれる自信があるので、やっと教習所を卒業したみたいな感覚で、当分の間ヨットを続けていきたいと思います。

最近は江の島でテーザーに乗せてもらったことをきっかけに、4 月 22、23 日に葉山で行われるテーザースプリングレガッタに OB の日向先輩と岡田さんとチームを組んで出ることになりました。テーザーめちゃくちゃ面白いです。名スナイパーの方々もランチャーはないですが、ウィスカーはあるし、ハイクアウトもゴリゴリできるので、本当に楽しめると思います。もちろん名 470 乗りの方々もスピンは無いですが、スターンの平らなボトムでエキサイティングなプレーニングもできて最高ですよ。関東在住の方は、ぜひ葉山港まで足をお運びください。関東在住でない方もお体にお気をつけてお過ごしください。拙い文章にお付き合いいただきありがとうございました。またどこかの海でお会いできる日を楽しみにしております。

p.s.将来の夢は地元の沖縄で子供たちにセーリングの楽しさを伝えることです。クラブを設立した暁には、綺麗な沖縄の海で活動にご協力いただける方募集してます👇

金城伶旺
Tell　090-6867-6500
Mail　reo3089@gmail.com

主将挨拶

工学部 3 年　小倉　直人

琴風会冊子をご覧の皆様、
本年度全学ヨット部の部長を努めさせて頂きます工学部 3 年小倉 直人と申します。
まず、今年長崎大学大学ヨット部 70 周年を迎えることが出来、こうして今我々が活動できているのも OB,OG さんのご指導・ご支援のお陰です。誠にありがとうございます。今後もこうして長崎大学ヨット部が活動出来るよう我々現役も精力的に頑張って参りますので今後ともよろしくお願いします。
さて、今年のインカレ団体戦が福岡で開催ということで 4 枠九州水域から全日本へ出場出来ます。なので今年は「全日本インカレ団体戦出場」を目標に日々精進して参りたいと思います。
また、部のモットーは「楽しく」をにやっていきたいと思います。なぜ「楽しく」をモットーにしたのかと言うと，今まさに新歓の季節ということもあり、みんな初めは「楽しい！」からヨットを初めたのと思いますが、それがいつしか「勝たなきゃ」となったり「上手くならないと」と考えるようになり、いつしかヨットの楽しさを忘れているのでは無いのかなと思ったからです。もちろん先程言った「全日本インカレ団体戦出場」は決して容易では無いのは承知しておりますし「楽しい」ばかりでは目標達成は果たせないと思います。しかしこれは実体験なのですが、乗れるようになったら楽しいですし、楽しくなったらもっと上手になると思っております。なのでまず原点回帰でありますが「楽しむ心」を部員一同に是非伝わってくれたらなと思います。
拙い文章ではありましたが読んで頂きありがとうございました。今後とも部の向上、継続を行っていきますのでよろしくお願いします。

弔辞

私が牛島先生の死を奥様からの電話連絡で知ったのは、19 日の夕刻、あの英国でエリザベス女王の国葬が行われている時でした。真っ先に私の心に浮かんだのは、お疲れ様という言葉でした。病魔と闘った闘病期間は長く、最近はひどい頭痛がありました。咳をすれば、飛び上がるほど痛いと言っていましたから、毎日、毎日が本当に辛かったからです。

先生は昭和 41 年に久留米附設から長崎大学医学部に入学されています。学生運動が燃え盛っていた時代です。先生は長崎大学の全学ヨット部に入部されました。そのヨット部は昭和 44 年に地方国立大では珍しい九州インカレを制覇し黄金期を迎えたのですが、その時の主要メンバーで理論派でした。私は九州インカレを制覇した年の 1 年生で、以来、50 年に渡りお付き合いをさせていただきました。

先生は卒後、ヨット部の先輩阿南先生を慕って皮膚科に入局されましたが、仕事以外の活動は一貫してヨットでした。長崎大学ヨット部 OB として後輩の面倒をみ、長崎県ヨット界でも多大な貢献をされました。親子以上歳離れた現役から追い出しコンパに案内が来ると 2 次会から 3 次会まで付き合って最後まで面倒を見ておられました。コンパを断ったことは 1 回もなかったと思います。県内の少年ヨットにも関わり、無償で毎週、日曜日こつこつとヨットマンの育成に尽力されました。これは、余人はなかなかできません。先生の深い愛情が注がれていたのを知っています。先生の診察スタイルも患者さんに寄り添う赤髭派の先生だったと聞き及んでいます。

諫早で開業されてからはクルーザーライフを楽しむチームネイティブダンサーの 8 人オーナーの一人として、ハウステンボスを基地に外洋クルージングを存分に楽しまれました。

先生の人生は海とヨットは切り離すことはできません。しかも、もう一つ、切り離せないものにお酒がありました。

気心のあった、仲間と酒を飲むのを至上の喜びとしていました。先生が酔っ払って歌う歌は、切ないブルース調の歌が多かったですね。先生の酒を飲むというスタイルは、塩が滲んだヨット着で朝まで飲み明かすという飲み方でしたね。下宿の先には豆腐屋があり、早朝豆腐を肴にまた、酒を飲み、やっと眠れたのを覚えています。佐世保ではあのガード下のこじんまりした店によく出入りしていました。薄暗くてタバコのケムリが壁に染み付いたような店が好みでした。若い人達は先生と飲みに行く時は、明け方まで飲むので死ぬ気で飲む覚悟がいるぞと語っていました。語り草になっていました。先生は骨の髄まで海を愛し、ヨット仲間を愛し、酒を愛し、家族を愛する海の男でした。

私が先生から教えて頂いた一つに、一度でも楽しく酒を飲んだら人類皆兄弟、もう心通う友達だということでしょうか。でも、私は実社会ではこれで大部失敗しましたよ。

私が 4 年前長崎に帰ってきた頃は、先生は車椅子生活になっていました。私は 3 年前の春にテンボスからヨットを出して西海橋の桜をみるクルージングを企画しました。先生の雲の流れを見る瞳に、もう一度あの広い海原に出たいという願望を知っていたからです。みんなびっくりしたのですが、揺れる船

の舵を握るとしゃんとして長時間立つことが出来ました。リハビリは好きなことをするのが一番効果がでるのですね。先生には潮風に当たって、仲間とワイワイするのが最大リハビリ効果が出ると確信しました。

もう一緒に笑うことができなくなり先生の無邪気な笑顔も見れなくなりました。でも、やっと病魔から解放されましたね。多分、先輩方が天国で手ぐすね引いてまっていることと思います。天国で海を眺めながら酒が飲めますよ。ただ、しばらくは新入りなので、下働きは必要です。やがて、我ら、後輩も後に続きます。
私達は先生のご恩忘れません。どうか安らかにお眠りください。

これまで有難うございました。合掌。

令和４年　９月 22 日　　藤原久郎

医療法人江上耳鼻咽科・めまいクリニック 長崎市銅座町２－15NK イリスビル 3F No.64 S35 入学　江上　徹也	**西山医院** 広島県山県郡安芸大田町中筒賀 1556－1 No.70 S36入学　西山　英行	**掲載広告募集**
株式会社鍋島 福岡市博多区吉塚 4-6-12-208 No.92.93 S41 入学　田中修一・光代	**税理士法人波多野アンドパートナーズ会計事務所** 長崎市万才町６－35－2F No.100 S42 入学　波多野　徹	**医療法人福田ゆたか外科医院** 長崎市浜口町３－５ No.116 S43入学　福田　豊
医療法人勝本外科日帰り手術クリニック 北九州市小倉北区足立２－１－10 No.131 S45 入学　勝本　富士夫	**医療法人福田ゆたか外科医院** 長崎市浜口町３－５ No.116 S43 入学　福田　豊	**みつる公認会計士事務所** 福岡市中央区荒戸２丁目１－８ No.137 S47入学　盈　辰博
漢方薬局たんぽぽ 筑紫野市筑紫 7-1 弁入ビル 1F No.153 S49 入学　長田　理惠子	**佐伯医院** 福岡市南区和田１－４－18 No.166 S52入学　貝原　宗重	**肥田塾数学専科** 諫早市真崎町 836－5 No.189 S56 入学　肥田　剛一
オーケー薬局 長崎市銅座町２－15NK イリスビル１F	**マリン薬局** 長崎市浜口町３－16	
カサマツ薬局 諫早市山川町１－５ No.110 S43 入学　大間　賢一	**わかば薬局** 佐賀県西松浦郡有田町大木宿乙 844－4	

本号も上掲の御協賛で発行することができました。
ありがとうございます。

2022年度　琴風会収支報告

【収入】

	内　　訳	金額(単位:円)	摘　　要
Ⅰ	年会費	515,000	
Ⅱ	阿南･矢津田基金	844,500	2011 年度から2022年度までの総額 7,169,000円
Ⅲ	広告費	260,000	
Ⅳ	預金利息	7	
Ⅴ	前年度繰越金	1,628,534	
	収入合計	3,248,034	

【支出】

	内　　訳	金額(単位:円)	摘　　要
Ⅰ	通信費	85,180	「琴風」送料･振込手数料･その他切手代 郵便局印字サービス等･ホームページ経費
Ⅱ	印刷代	146,157	「琴風」印刷費
Ⅲ	学生へ援助金	885,810	新入生勧誘費用 艇運搬･整備備品等
Ⅳ	活動費(慶弔費)	38,000	
Ⅴ	70 周年新艇購入費	1,899,886	購入費2、899,886円のうち 100万円は借り入れ
	支出合計	3,055,033	

差引残高　　￥193,001　　2023 年 3 月 31 日現在　次期繰越金へ

＊新艇とマスト(Super　Spars)購入費用総額が 2,899,886 のため、会員有志より 1,000,000 万円を無利子にて琴風会に融資していただいています。会費より期限なしで少しずつ返済予定ですので会費納入よろしくお願いいたします。

納　品　書

長崎大学ヨット部 御中

671-0111 兵庫県姫路市的形町的形 2013番地
オクムラボート販売株式会社
代表取締役 奥村雅晴
TEL 079-254-5630 FAX 079-254-3270

振込先 みずほ銀行 姫路支店 当座 0115858

得意先ｺｰﾄﾞ	売上日	伝票No.	担当
21019	2023/02/19	00000076	

合計金額	367,400

商品コード/商品名	数量	単位	単価	金額	備考
ﾏｽﾄｺﾝﾌﾟﾘｰﾄ(ｽｰﾊﾟｰｽﾊﾟｰ学連ﾏｽﾄ用)	1	ｾｯﾄ	295,000	295,000	課
ﾄｯﾋﾟﾝｸﾞﾘﾌﾄ出口 (ﾏｽﾄ前方側　長穴出口) ｽｰﾊﾟｰｽﾊﾟｰ	1	件	10,000	10,000	課
ｽｰﾊﾟｰｽﾊﾟｰﾏｽﾄ/ﾒｲﾝﾊﾘﾔｰﾄﾞ　1/2ｼｽﾃﾑ変更	1	件	5,000	5,000	課
カニンガム両引き	1	件	10,000	10,000	課
ジブイグジットISPベアリングシーブ	1	件	14,000	14,000	課
新艇と同時輸送の場合は送料なし					

税　抜　額	334,000
消 費 税 額	33,400
合　計	367,400

納　品　書

852-8131
長崎県長崎市文教町１－１４

長崎大学 御中

671-0111 兵庫県姫路市的形町的形 2013番地
オクムラボート販売株式会社
代表取締役 奥村雅晴
TEL 079-254-5630 FAX 079-254-3270

振込先 みずほ銀行 姫路支店 当座 0115858

得意先ｺｰﾄﾞ	売上日	伝票No.	担当
21020	2023/02/19	00000073	

合計金額	1,531,716

商品コード/商品名	数量	単位	単価	金額	備考
470級ﾖｯﾄ学連艇YAMAHA ACPH	1	艇	1,260,000	1,260,000	課
470級ﾚｰｼﾝｸﾞﾊﾟｯｸ　AB仕様	1	ｾｯﾄ	440,000	440,000	課
サイドタンク両舷　マスト下で左右分け	1	件	20,000	20,000	課
アルミ３点インアウト	1	件	15,000	15,000	課
センター昇格　1/4	1	件	20,000	20,000	課
パイププライダルカム仕様	1	件	76,500	76,500	課
ｽﾋﾟﾝﾊﾘ　ポンプ式（インナーキールにブロック３つ）	1	件	40,000	40,000	課
トッピング両サイド引き	1	件	25,000	25,000	課
フェアリード付きカム	1	件	8,000	8,000	課
マスト　Supperspars	1	件	70,000	70,000	課
ベーラーゲルコート仕上げ	1	件	40,000	40,000	課
ｾﾝﾀｰﾎﾞｰﾄﾞ（ノーマル仕様）	1		10,000	10,000	課
船台（Bタイヤに変更）	1	件	70,000	70,000	課
トップカバー（ファクトリーゼロ製）	1	件	58,060	58,060	課
ﾄｯﾋﾟﾝｸﾞﾘﾌﾄ出口（ﾏｽﾄ前方側　長穴出口）ｽｰﾊﾟｰｽﾊﾟｰ	1	件	10,000	10,000	課
カニンガム両引き	1	件	10,000	10,000	課
ｽｰﾊﾟｰｽﾊﾟｰﾏｽﾄ/ﾒｲﾝﾊﾘﾔｰﾄﾞ　1/2ｼｽﾃﾑ変更	1	件	5,000	5,000	課
ジブイグジットISPベアリングシーブ	1	件	14,000	14,000	課
送料(兵庫～長崎)	1	件	110,000	110,000	課
ﾏｽﾄｽﾃｯﾌﾟ，ｸﾞｰｽﾈｯｸ ｽｰﾊﾟｰｽﾊﾟｰ製			計	2,301,560	
申込金	-1	件	1,000,000	-1,000,000	外

税　抜　額	1,301,560
消 費 税 額	230,156
合　計	1,531,716

学生への援助詳細

払い込み・細目		金額（円）	支払先
2022年3月20日	新歓費用	150,000	現役へ
2022年6月4日	艇運搬 子々川～小戸	110,165	ひかり運送
2022年8月3日	艇運搬 子々川～小戸	113,465	ひかり運送
2022年9月30日	艇運搬 子々川～鹿屋体育大学	231,165	ひかり運送
2022年11月8日	艇運搬 子々川～サンセットマリーナ	76,065	ひかり運送
2022年10月30日	レーザー・ホッパー修理	80,000	里造船
2022年4月1日～	部品・セール修理代	124,950	TOK ゆうこうマリン他
計		885,810	

皆で育てる「阿南・矢津田メモリアル基金」その 10

稲岡先輩アルバムより

2022 年度にご寄付をいただきました(入学年度順)

氏　名　一　覧

大場崔範　八島敏昭　福田豊　荒木秀一　宮崎新治　田井隆之
楢林好隆　上田健　稲岡晴紀　乙吉隆司　大塚一徳　島岡啓一郎
矢野右人　**牛島信雄＊**　徳島尚　岡田昌一郎　神崎修　中島貴史
江上徹也　佐野義一　藤原久郎　貝原宗重　畑田英樹　後藤寛幸
浜口孝　田中修一　糸永雅治　林日出喜　肥田剛一　矢頭宏一
水谷正　田中光代　片木敏彦　益本智星　田中慎二　武内健
澁谷統寿　塚本徳男　佐々和明　原佳伯　濱田健一郎　山本茂晴
西山英行　佐藤一敏　盈辰博　吉村博　内田勝久　日向純平
山口俊明　田村徳子　井手稔　綾部洋一　中村賢司
川崎滋　波多野徹　佐藤恵子　岩高宏樹　前川清隆
堀居堅　大間賢一　八幡和幸　大串豊美　鎌田晋吾
迫龍二　中村道夫　龍尾一信　仁田原司　前田貴裕
前田昌顕　福田真理　荒川敏明　藤原和夫　池田まゆみ

故牛島信雄様ご家族より、ご寄付をいただきました。

記載もれがありましたら、是非、琴風会事務局：貝原までご連絡お願いいたします。

長崎大学ヨット部琴風会事務局　〒8528061　長崎市滑石 5－16－6　貝原宗重

長崎大学ヨット部は 1953 年（昭和 28 年）の創部 70 周年を迎えました。
会員皆様の会費・寄付より、2014 年・2018 年に続き記念すべき年に 470 級とマストの寄贈を行うことができました。

会員の皆様、ありがとうございます！

基金への寄付は、5,000 円未満も大歓迎です。200 名を超える会員数ですので、皆様のご厚情が集まれば、大きな力になります。

振込先：ゆうちょ銀行　口座番号:01890-2-42326　　琴風会

十八親和銀行　大学病院前支店　(普)030408　琴風会

振込みは、ATM にて休日・祝日も可能です。

2023 年度、現役への援助予定

試合遠征費（艇運送費）：

九州インカレ新人戦・九州インカレ個人戦、九州インカレ団体戦、西日本インカレ

福岡小戸:1 往復 120,000 円 x 4、計：480,000 円

（鹿児遠征の場合は、1 往復 230,000 円と高額になります！）

艇整備費：　200,000 円

部員勧誘準備費：　勧誘チラシ作成・レンタカー代等：150,000 円

琴風会事務局：貝原（佐伯）宗重　2023 年 5 月

和42年43年入学組(現在72歳以上)、大分ふぐ遠足

昭和47年薬学部卒　岡本　美佐緒

現役の方々に、ヨット部を卒業した高齢者がどんなふうに遊んでいるかをお伝えいたします。
紅葉の季節11月19、20日に大分在住の岡田先輩のお誘いで大分でふぐを食べるために13人が参集しました。これには前段がありまして、7月岡田先輩が長崎にみえるので来ないかと大間さんから招集がかかりました。岡田先輩と言えば、50年ほど前ヨット部の我々の前から忽然と姿を消し広大の医学部に入り直したと噂には聞くもそれ以降はお目にかかったことはない先輩です。

当時のヨット部には3人の「岡田」が居たので、2級上の女性は「オカメさん」今回の岡田さんと我々同期の男性は体型から「オカヤさん」「オカデ」と呼び分けていました。(これ以降先輩岡田さんのことはオカヤさんと呼びます)。琴風49号にそのオカヤさんの記事が載って消息を知り、長崎に来られるのであれば行かない理由はない。折からコロナ禍ではあるしそれほど大人数にはせずにということで7人で集まりました。その時オカヤさんからは女性陣にプレゼントを頂きました、赤いバラですよ。海の男ヨット部員でも50年経つとこうなる人も居ます。長崎では、福田さんの車で国体合宿した福田の西光寺、ヨットハーバー、時津の萬行寺、子々川と思い出の地を巡りました。

オカヤさんは、当時御自分のスキッパーであった牛島先輩がご病気とのことで、主治医藤原くんに伴われて諫早のご自宅にお見舞いに行かれました。いい時期に再会できてほんとに良かった。

さてその長崎で、オカヤさんから「今度大分にふぐ食べにこんね」のお誘いがあり実現しました。

参集したメンバー:琴風No順

波多野さん(長崎)S42経入学：

バリバリ現役で波多野アンドバートナー　ズ会計事務所を回してらっしゃいます。

大分の後仕事に東京に向かわれました。

オカヤさん(大分)S42医入学：

詳細は琴風49号参照。できるだけ仕事と運転は続けられるそうです。

中さん=旧姓友永(町田)S43薬入学：　ここから全員S43入学です

昨年、調剤薬局退職。山にハマり100名山300名山踏破。今もトレーニングで重いリュック担いで町田市内のデパートの階段上りしてます。

福田真理さん(ケメコ)=旧姓池田=福田豊さんの奥さん(長崎)薬：

豊さんの医院で仕事してます。当時のケメコのカワイイ雰囲気を今も失くしてません。夫君豊氏がよほど上手に接してる？

安田さん=ブーコ(広島)薬：

数年前薬局長退職。街中に住みデパ地下、平和公園散策(徘　徊？)が日課。元ヨット部とは思えない華奢な足で骨折、捻挫数回。

大間ちゃん(佐賀)薬：

長崎・佐賀に調剤薬局を数軒経営する　　やり手。福田氏と公私共によいコンビ。面倒見が良いので同期の幹事役、いつもご苦労さまです。役者。

大間ちゃんの奥様=由紀さん：

大間ちゃんの一枚上手をいく、愛され上手な奥さん。最近7人目のお孫さんが生まれて、そのお世話に走り回ってる。

岡本(宝塚)薬：

鍼灸院でボチボチ仕事。鍼・マッサージで治療というより患者さんは話しに来てる。お金貰って自身の老化予防してます。

松尾さん=殿下(東京)工：

現在も現役で仕事してる。ヨット部時代の大間ちゃんとの演し物「ヒデロザ　愛の奇跡」アモーレ聴きたかった。

福田さん(長崎)医：

福田ゆたか外科医院院長。ともにヨット部出身、かつ長崎在住なので同期会重要人物。酒も飲むけどチョコレートも好き。

徳島さん(鎌倉)経：

農作業などして悠々。版画の年賀状に見　る芸術的センスは学生時代は隠してた？

徳島さんの奥様=浩子さん：

版画のモデルのような日本的美人。

野中さん(福岡)医：

福岡で精神科クリニック開業。学業が面白くなりヨット部は早くに辞めたけど同期会には来てくる。

野中さんの奥様=利子さん：

4人の子を育て上げ、今も働くキャピキャピ奥さん。

大分「ふぐ八丁」でフグをたらふく食べ、二次会「BAR IZARRA」で飲みかつ喋り、しかし限界を知る私達は22時半にお開き。翌日は由布院散策に向かいました。由布院ではオカヤさんのご家族にも歓待され楽しく解散しました。

我々43年入学組は(決して卒業年次は問わないこと)、薬学部が5人居ることから学部同期会のついでにヨット部メンバーが集まることがあります。

2015年3月には神戸の薬学同期会のあと有馬温泉でヨット部集合、その時はベトナムから風間さん(フーマ)、故岡田(オカデ)さん、中村さんが加わりました。その場で話がまとまり、11月にはフーマさんが働いているベトナムに皆でほんとに押しかけました。

2018年6月オカデさんのお見舞いには西宮に駆けつけました。オカデさんはヨット部時代とは変わって大学教授のような風貌になり、オカ(デ)で無くなってた。

このように50年経っても交友を続けるには

*同期をなるべく増やしておくこと

*苦労をたくさん共有しておくこと

(国体合宿のときは50~60人分の飯炊き　が毎日だった)

*同期の一人は長崎に在住しておくことが望ましい。そして金回りのいい(？)同期も確保しておくこと。

オカヤサンからは、年齢を鑑みてあまり間を空けないでまた集まろうと言われております。

みんな元気で遊びましょ！

2015年3月　有馬温泉にて

2015年11月　ベトナムにて

グループライン奮闘記

昭和 44 年入部　細波文男

琴風に寄稿するのは何十年ぶりだろうか、おそらく現役以来、考えただけで過ぎ去った年月の長さに驚くばかりです。

２～３年前からそろそろ昭和 44 年入部の同期会の開催をと当時の藤原キャップから連絡があっていたが、コロナ渦の中で延び延びになっていた。

その頃、昨年９月にあった牛島先輩の葬儀に同期５名が参列したあと、昼食時にこの際ライン交換しようということになったが、１時間余りで友達登録２～３人がやっとで、その時集まったメンバーの知識のなさを実感したものです。12 月になった頃、吾平（芸名）からラインのグループを作ってみようと発案があり、早速吾平を中心にグループを作ることになったが、なんせ初心者ばかり、「あーでもない、こーでもない」と作業は遅々として進まず全員が繋がるのはいつのことやらの状態でした。

それから全員繋がり無事同期会が開催された半年余りの模様を伝えたくて、ここに奮闘記として記してみました。

※　芸名の吾平の云われは同期前後のメンバー以外あまり知られてないが、最初から説明すると長くなるのでここでは割愛します。

ラインのセキュリティに不安を持つ者も一部にはいるが、繋がってしまえばこんなに便利なものはない。一度載せると瞬時に全員に繋がり本当に便利さを実感したところでした。ただ、どうにか自分自身で操作できる者、家族に操作してもらう者、最先端の知識を持っていると思われる者が実際は孫に操作してもらったなど色々でした。

最初に吾平と友達登録していた藤原、細波（筆者)、稲岡と、もう一人この同期会の世話人を任命された盈の５人でスタートしました。その時点で残りは秦、満冨（旧姓)、土井の３人と特別ゲストになりました。ここまでは、まぁスムーズに進みましたが、これからが大変でした。土井とはどうにか繋がったものの名前ではなく電話番号表示になったり、自分が送ったメッセージに何故名前が入らないのかといった苦情があったりしました。

同期会の連絡だけでなく、サッカーワールドカップの話、魚釣りの成果の話、行ったことがある長大橋の話などいろいろな話が飛び交うようになりました。ただ、メッセージが入ると直ぐに既読になる者、３日位経ってようやく既読になる者などいろいろで、名前は出なくても誰が早いか遅いかの目安が大体分かるようになりました。そのうち、特別ゲストの勝本が繋がり、当初ラインはやってないと言っていた満冨もどうにか繋がりました。

年が明ける前に、田代が何故同期会に入ってないんだということになり、何せ琴風に住所が載ってなく行方探しから始まりました。吾平が名前を検索したら「平和案内人」の活動の様子が出てきて平和推進協

会へ連絡したり、以前琴風に載っていた住所に盈から手紙を書いたりして、やっと連絡がとれ登録することができました。

残りは秦だけとなったが、スマホを買い替えないとラインが出来ないとのことで皆でじっと待っていたら、やっと繋がり秦からの第一声が届いたときは何か嬉しくて、これで全員繋がりました。出席者に特別ゲストの本田、大間先輩が加わり、大間先輩を除き 11 名の大所帯のグループができました。

行方不明の佐藤を除き同期会メンバーに加え特別ゲスト間のラインでの会話が始まりました。佐藤の行方は皆で探しているが未だわからずじまいのままで進展がない状況です。

その後、グループでのたわいない会話や連絡事項もスムーズに伝わり、3 月下旬に無事同期会を盛大に開催することができました。

以上、普通ならなんでもないレベルなのに、知識が乏しい老人達でも頑張り、グループラインが繋がるまでの奮闘記として記してみました。肝心の同期会の様子は別途ご報告することになるでしょう。

最後に今回の同期会幹事の吾平及び世話役の盈は、グループラインの登録にも尽力し無事繋がり同期会が開催できたことに対して、改めて御礼申し上げ奮闘記を終えたいと思います。

2023 年 3 月　嬉野温泉郷にて

桜井酒店の事

S44 年入部　藤原　久郎

OB 諸氏においては、初めて親元を離れ長崎に出てきた方が多くおられる。特に県外から長崎に出てきた人達には、肥前長崎は新鮮だったはずだ。長崎には長崎らしい風土・人情がある。それぞれが、ヨット部部活生活だけでなく、様々な人に出会い、かけがえない思い出を作り、長崎を楽しんだはずだ。卒後は社会人を目指し、大志を抱き心新たに長崎を旅立ったはずだ。

私が入学した年は東大紛争と言われる安田講堂事件があり、東大入試が無かった年だった。当時はまだ、社会矛盾と闘う学園紛争の影響が色濃く残っており、「ワレワレハタタカウゾー」調アジ演説が毎日拡声器から流れていたが、どういうわけか一般学生の部活活動も活発で、学生はそれぞれに学園生活を楽しんでいたと思う。学費を稼ぐためのパチンコ店や麻雀屋、ボトルをキープするスナックが繁盛、南こうせつが歌った昭和貧乏学生の「神田川」と同様の世界があった。

長大ヨット部は全学サークルであり、インターハイで優勝を狙うクラブとしてその存在感を放っていた。私の入部した当時、主将は歴代医学部だった。ヨット留年は当然の時代で、この主将は 3 回、次の主将も 3 回、次の主将候補は学園紛争のあおりで放校となり、次の主将は 2 回留年した。全国広しといえどもこの記録は破れることは無いだろう。私はこの記録に誇りを持っている。

この当時はガラケーも、勿論、スマホもなく黒電話だった。私にとっては、医学部クラス学友よりもヨット部内の仲間との付き合う密度の方が濃いかった。顔は日焼けで真っ黒であり、そのせいで水産学部の上級生から、下級生と間違えられ、バイトを命じられたこともあった。

当時は、学生さんは国の宝、長崎はおおらかでツケのできる社会だった。

長崎大学裏門の裏通り、純心高校傍にあった桜井酒店の存在を覚えているだろうか？今はもう無い。路面電車が走る大学正面傍にも酒屋があったが、人通りの少な裏門道路の、そのまた裏通りに面した桜井酒店は酒を売るだけなのに、いつも売上はトップクラスで卸筋からは長崎七不思議と言われていた。桜井酒店のご主人は特にビンボー学生を大事にしていた。この事を良く知る大学教授は信頼できる学生をこの酒店にアルバイト学生として紹介していたのである。

それともう一つ、この酒屋の真向かいには比較的広い駐車場を持つ町工場があって、ここには柵が無かった。しかも夕方には工場は仕事が終わり、無人だった。いつの頃からかサーキットの終わった運動クラブの学生さんが、この駐車場のスペースに目を付けたのだ。ビール瓶入れのケースをひっくり返し即席のテーブルにして、ここでビールをぐいぐい飲み始めたのである。空手部の下級生などはサーキット後の上級生のために、早くからゴザを持参して席を準備していたのである。ちょっとした路上ビアホールの雰囲気があった。常連は全学サッカー部、空手部、卓球部、水産学部カッター部と我がヨット部だった。お陰でサントリービール「純生」は飛ぶ様に売れたのだ。近くには浦上警察があるのだが、よく注意されなかったものである。桜井酒店は学生で大繁盛していた。

この酒店の店主は桜井芳雄さん、カミさんは明るい色白の佐美子さん。私は佐美子姉ちゃんと気軽に呼んでいた。芳雄さんは義侠心の強い人で、大川栄策の小節が効いた「めんない千鳥」が十八番、田舎出身のビンボー学生を可愛がり、夫婦で面倒を見ていたのである。ヨット部はいつの間にか、藤沢のアルバイトした頃から、路上ビアガーデン組から格上げになり、桜井酒店の自宅に上がり込み、ただ酒を飲み、ただ飯を当然の如く頂く様になった。特記しておかねばならないのは、我が友、藤沢・佐藤・後輩

勝本・徳丸が特に上がり込んだメンバーである。あそこに行けばただ酒、ただ飯が頂けると、ヨット部の後輩である何某が単独、座敷に無断で上がり込ん座って食事を待っていたことがあったそうである。藤沢「へーさん」と佐藤はここでアルバイトをさせてもらった。「へー」はヨット部では大間さんの後の芸能部長を拝命していた。軽妙な落語と歌が得意で、いつも、彼の周りは人が集まっていた。一番の人気者だったのである。藤沢には「へーさん・へーさん」と当時小学生低学年であった息子がまとわりついていた。当時、「へーさん」が「かっちゃん」と作り上げた、万国ビックリショー「ちんぽこよっつ」が大いに受けた時代で、これを見た息子は本当に「へーさん」にはちんぽこがよっつあると信じていた。「へー」は留年を余儀なくされた折、実家から仕送りが心配だった。親父さんは「心配するな、面倒をみるよ」と言ってくれたのだ。

佐藤「サトー」は北九州若松出身、オヤジさんと同じ名前の芳雄。いつも田舎風ちゃんちゃんこを羽織っていた。寝巻きは使わず、ジャンバーを着たまま布団をかぶり、起きたらそのまま学校に行くというスタイルだった。彼の両親が来崎した時に、当然、桜井酒店を訪問している。「サトー」があたかも自宅の様に、冷蔵庫を当然の如く開ける様子を見て、お母さんは涙を流し、安心して帰られたそうである。

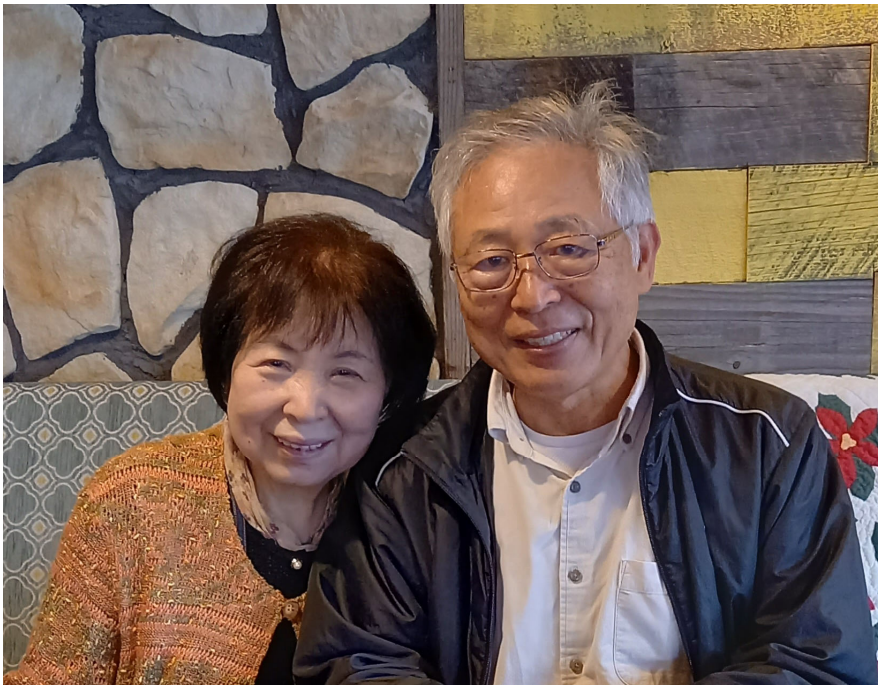
勝本「かっちゃん」もお世話になっている。ある日、真夜中に来て、ぞーりのまま、家に上がってきたそうである。オヤジさんは嫌な顔もせずに、座敷に上げてやり、佐美子姉は夜食を食べさせてやったそうである。「かっちゃん」はお礼を言いたかったのだろう、「奥さんは？」とオヤジさんに質問したそうである。彼は佐美子姉様をお手伝いさんと勘違いしていたのである。親父さんは呆れて、「こんな夜遅い時間に飯食べさせられるのは嫁さんしかいないだろう」と答えてら、佐美子姉様の顔をしげしげ見て、そして「お若いですね」とのたまったそうである。

ある日、佐美子姉に「包丁を全部出せ、故郷の自宅で研いで来るから」と言ったそうである。彼の帰省先は小倉の金物店で包丁を研げるのである。しかし、包丁６本全部持っていかれたら、困るので、「あなたはいつ帰ってくるの」と聞いたら、「かっちゃん」は真面目に「イッカゲツ後」と宣ったそうである。主婦は包丁は毎日使うものである。勝本には主婦の仕事が全く解っておらず、包丁を研いで恩返しがしたいという短絡的御礼思考だけが頭にあったのだ。あの頃は学生という特殊環境の中の人間であり、ずっこけ・とぼけた学生であった。座敷の襖には彼が酔っ払って彼の故郷の小倉太鼓を披露、手の皮が破れ、血痕の着いた襖が残っていた。

しかし、社会に出てからは、医学の道に研鑽してクリニックを開業。今や、日帰りヘルニア手術のスペシャリストして権威になっている。

徳丸「トク」は社会人になってからも郷里の鹿児島に帰らなくとも、長崎によく帰ってきては、桜井に泊まっている。

私は結婚式前夜、中島川通りにあった「アイデア」で前夜祭をやったおり、厳寒２月の水が少ない中島川にお祝いの儀式で川に落とされたことがある。ずぶ濡れのまま夜遅く、私は桜井酒店に辿り着き、独身最後の夜を泊めてもらった事があった。べろべろ酔っ払っていても靴だけは式用だと話していたのであろう。朝、起きたら、靴が乾いて光っていた。佐美子姉が言うには、親父さんが一晩、ストーブの前で、交互に温め、乾かしてくれたとのことであった。その芳雄オヤジさんが亡くなって久しい長崎のホープ、プロゴルファー櫻井心那（19 歳）は芳雄さんの孫である。応援している。写真は令和５年、私と佐美子姉。



ヨットと和幸の人生　令和４年 10 月

昭和 53 年経済学部卒　八幡和幸

２週連続の台風（11 号・14 号）が過ぎ去って長崎では大幅に温度が下がり秋の気配が漂ってきました。近くを散歩すると９/23 の西九州新幹線の開業セレモニーの準備が進み蝉の声もなくなり秋から冬への変貌を感じました。（時代も変わっていくのだなー）
和幸は４３年間のサラリーマンを終了し今年の５月に長崎へ戻ってきました。今世間ではコロナ化を抜け出そうと各国がもがきつつ、ウクライナ戦争や中国問題、北朝鮮問題も大きく変わってきています。こういう時代ですが、和幸は一段落して、元気なうちにヨット、ゴルフ、山登りなどを楽しんでいくつもりです。（そのため平和は重要ですね）

３年ぐらい前から北海道の雌阿寒岳や知床、屋久島の山のぼりと杉探検などもやってきました。私もこのように元気なわけではありませんでした、４０代後半では白血病や６０代では心臓病などに痛めつけられましたが、入院や治療で乗り越えました。こういう困難の中で活力をもって生きてこられたのはヨット部の４年間並びにその後のヨット仲間との関わり合いが重要でした。同期で入部の５人と女性の木村（現在長田）さんでした。皆さんは社会に出ても負けずに頑張っていましたね、飲み会も開いて意見交換しましたね。
今年帰ってきて、昔の仲間や現状応援してくれている貝原・林・岡田・肥田君たちと合宿所に行きましたらなんと今年の新人が１３名も入部しているではありませんか、これは応援していかねばと思っています（私も小型一級船舶免許も取りました）。

私のヨット部４年間は１・２・３年と３年続けて全日本に出場できました。（大阪淡輪・鹿児島湾・小戸ハーバー）しかし、４年では造船大学（現長崎総合科学大学）に僅かに及ばず３位で出場できませんでした。でもこの中で経験したものは大きく、卒業後も村田・盈先輩と女性の三嶋さんとのクルーザーメンバーとは外洋レースを楽しく積み重ねました。また愛媛大の藤田さんとは４７０のクルーを探しているので一緒に国体（宮崎）にも出させてもらいました。

一方会社（リンガーハット）は、我々が入社した時は２０店舗でしたが、なんと２４名の大卒を採用してその中の一人でした。私はもともと食品会社の大手を受けましたが成績が悪く面接まで行けず、結局は福岡のロイヤルに行く予定でした（ヨットばっかりしていたことと勉強嫌い）。しかし、ひょんなきっかけで浜勝（のちリンガーハット）の面接を受けました（龍尾と長崎であったヤマハの面接に行った帰りのことでした。人生はわかりませんねー）。
結局浜勝に入社しましたが、親兄弟や友達（ヨット部以外）は大変やめたほうが良いと言ってくれました。結局私は将来性を買って入社しましたが、大変なことばかりでした５０店舗の時・１００店舗の時・２００店舗の時・５００店舗の時と会社のありよう自体を

変えていかねばなりませんでした。上司や他部門とは意見競争の状態でした。でも、やはり結果を大事にしていけばいろんな部署で経験を果たすことができました。（現場→経理部→上場担当→リンガーハットのブロック長・部長→経理部長→管理本部長→生産本部長→浜勝営業本部長→管理本部長→浜勝社長→FC 担当役員→退職）これらの部署を経験した時必ず現場の意見を聞き大きな改善活動を行ってきました。新しい部署に行くと現場で作業を一緒にして学びました。浜勝社長の時は、制服で現場に入るのでパートの人たちと話ができました。

一方生活面では、３１歳で結婚し二人の息子と二人の孫がいます。しかし、今は離婚し一人の生活を楽しんでいます。息子や孫たちとは楽しいですね。離婚すると女性の友達も増えて楽しいです。今はヨット、ゴルフ、山登りなどいろいろチャレンジしています。スキューバーダイビングもしていましたが心臓病の影響で止めました。

これらを含めた旅行は大好きで、来月は上五島旅行に行くつもりです。今は仕事もやめて自由です。お誘いがあればいろんなチャレンジに挑戦しようと思います、是非チャレンジする人生をみんなで実践しましょう。

楽しい仲間を待ってますよ！

久しぶりの子々川艇庫で　2022 年 7 月

ニセ電話詐欺に要注意！

平成 14 年環境学部卒　高月善弘

長崎大学に入学、その入学説明会の時に半ば強引？に勧誘され入部したのが平成 10 年の話、あれから 20 数年も経ったのかと懐かしい気持ちで筆をとっています。

私は、大学卒業後、長崎県警に入り、昨年、勤続 20 周年を迎えました。その間、長崎にいながらも琴風会とは疎遠となっており、この原稿依頼が舞い込んできたときも、こんな私が書いていいものかと悩んだのですが、県警職員としての立場からひとことお話をさせていただければと思い寄稿いたしました。

私は、平成 28 年から 5 年間、県警本部捜査第二課で特殊詐欺（ニセ電話）捜査を担当しておりました（現在は全く違う部署におりますが‥）。皆さまも御承知のとおり、ニセ電話詐欺被害は年間数百億円にのぼり、警察としてもあらゆる対策を講じてはいるのですが、なかなかなくならず、全国警察の喫緊の課題となっています。長崎県警におきましても、特殊詐欺等被害防止広報大使に歌手・タレントなどで御活躍の前川清氏を委嘱し、様々な取り組みを行っています。

ここで、その一部を紹介します。

・前川清氏とのお約束

き　になる電話は
よ　く考えて
し　っかり確認！

二千電話詐欺の犯人は、あらゆる手段で皆さまに迫ってきます。

電話やメールでお金の話が出たら要注意！間違いなく詐欺です。

琴風会の皆さまが被害に遭われないよう祈っております。

[長崎県警察ホームページ]

https://www.police.pref.nagasaki.jp/police/kurashi/tokushu-sagi/

特殊詐欺には
ダマされん県！
特殊詐欺等被害防止広報大使
前川　清
長崎県警察

単独日本一周航海記～第３レグ・本州西岸南下（函館～宇部）

昭和 49 年ヨット部卒　本田　由紀夫

９月２２日　函館港から大間漁港

曇　風向ＮＷ～Ｗ　風速５～７ノット　航程５２マイル

７時過ぎに函館港を出港し小泊漁港めざしました。いったんは木村さんと東西に別れましたが何故か夕方再会してしまいました。天気も良く北よりの追い風で順調に進んでいましたが津軽海峡を渡る昼過ぎに向い潮が最高になり竜飛岬が遠のいてゆき下北半島が近づいてきました。仕方なく木村さんが向った大間漁港に入ってしまいました。早速大間マグロを食べようと食堂に入ったらビックリしました。マグロ丼が３０００円もします。テレビ報道のせいではないかと思いました。これは外来者に対するボッタクリだと二人で憤慨しました。

９月２３日　大間漁港から小泊漁港

晴　風向ＳＥ～ＮＥ　風速５～８ノット　航程４０．５マイル

木村さんに見送られて７時に小泊漁港に向けて再出港しました。幸いなことに干潮で上げ潮に向うので津軽海峡の潮も弱く無事竜飛岬を通過できました。岬の近くでは漁船や遊漁船がいっぱいでした。後で聞いたらマグロを狙っていたそうです。小泊漁港に入ると遊漁船の人が空いている場所を教えてくれました。近くの銭湯で二日間の健闘を癒しました。

９月２４日　小泊漁港から深浦漁港

　晴　風向W～ＳＷ　風速３～１５ノット　航程３２．８マイル

　天気も良く東よりの順風の中８時に出港しました。隣のボートに給油していた車についでに給油してもらったので出港が遅れました。小泊岬を過ぎて中間近くで風が上がって心配しましたが午後は風も落ち１５時頃には深浦漁港に入ることができました。教えられていた公園の前の岸壁に係留して近くの漁船の人に聞いたら大丈夫だということでした。町営温泉には定休日で残念ながら入れませんでした。後で秋田マリーナから出てきたという伊豆の伊東のヨットが入ってきました。十代の息子と二人で日本海を上ってきたそうです。北海道はあきらめて太平洋側に出て戻るそうです。

９月２５日　深浦漁港から能代港

　曇時々晴　風向ＮＷ　風速８～２０ノット　航程３７マイル

　７時過ぎに深浦漁港を出港し戸賀漁港をめざしました。北西の風でフリー、しかし波を横から受けて振られて良くありません。そうするうち昼頃から風が次第に強くなり、波も激しくなりしぶきを浴びだしました。５ノットキープが精一杯で目的地までそのまま向うと１７時頃になりそうでした。日没になる危険性があるので近くの能代
港に避難することにしました。能代港に向けると完全にフリーで大波に乗って走り出しました。１５時頃能代港に近づきましたが東北電力の発電所の前の巨大な防波堤の前面は反射波と重なって激しい波がもみくちゃでした。小さなカプリは波に翻弄されて危なかったですが何とか回り込みました。港内はまたやたらと広く奥の河口にある漁船溜まりまで時間がかかりました。奥でも波はありませんが風が強く

何とか良さそうな岸壁に係留し一安心しました。くたびれたので何処へも出かけず船で食事とシャワーを済ませ早々に寝ました。

９月２６日

今日は天候も回復してきましたが四日も走り続けたので休養することにしました。町から離れているらしいので昼から自転車で探索しました。通りかかった漁師さんが軽トラで近くの国民年金健康センターの能代温泉に連れて行ってもらいました。帰りも電話くれれば迎えに来るよと言ってくれましたが申し訳ないので断って積んでもらった自転車で買物をして戻りました。船外機の漁船を水害で失ったそうです。川岸では水害の残材を片付けていました。最近の出来事なのでしょう。そんな中の親切に感謝の気持ちで一杯になりました。

９月２７日　能代港から戸賀港

曇時々晴　風向ＮＥ～ＳＷ　風速３～１５ノット　航程２５．５マイル

今日は午前中は天気が良さそうなので７時過ぎに出港しました。風は東から南西に変り上がってくる予報で迷いましたが追い風に乗って進むことにしました。最初は追っての順風の中快調でしたが、昼前から残り１０マイル程から南よりの風が強くなり出し波も出てきました。その上急に艇速がダウンし排気から黒煙が出ました。ペラに絡まったみたいなのでエンジンスローに落としメインを上げ帆走で切り抜けました。戸賀港に入港する頃には機走も戻ったので取れたみたいです。戸賀漁港は天然の良港と書かれているように湾奥にある漁港で、今も強風と雨ですが安心です。漁協の方も親切に空いている場所を指示してくれました。

９月２８日　前線通過で日和待ちです。

９月２９日　戸賀港から飛島漁港

晴　風向ＮＷ　風速８～１５ノット　航程４６．６マイル

北西の風で天気も晴、追風で走れるので６時過ぎに出港しました。風は１０～１５ノットで申し分ないのですが太平洋並みのうねりがきつく艇が大きく振られて乗り心地が良くありませんでした。うねりで急激に振られるとオートパイロットも対応できません。５０マイル程の長丁場でちょっと疲れました。でも何とか日没までに飛島漁港に入り込むことができました。函館で会った「さうす」が留めた港の端に行くと地元の人が「ここは引き波があるからもっと奥へ入れば」と言ってくれたので奥の静かな場所に係留しました。本当に水が透き通って底が見えます。

９月３０日　飛島漁港から酒田港

　曇時々　風向ＳＥ　風速５～７ノット　航程２０．４マイル

出向前の早朝に飛島を少し散策しました。酒田港までは近いので９時に出港しました。昨日と変わって風は南東の軽風に変わりうねりがなくなりました。オートパイロットまかせの楽チン走行で予定通り１４時前に酒田港に入りました。港では根室の山崎さんの
紹介で地元のヨットマン大場さんが待っていてくれました。上架して空いているバース
に係留しました。艫の二本のブイからとっての槍付けです。しかし静かで干満も殆どないので非常に居心地の良いバースです。水、油、食料の補給も手伝って頂いて感謝感激です。

１０月１日　休養と補給をしました。

１０月２日

　酒田市内をちょっと観光しました。本来出港する予定でしたが粟島の温泉が定休日なので中止しました。それと船に来てくれた保安部の方から海鮮市場は安くて美味しいし山居倉庫も見てくださいと言われていたので自転車で出かけました。午後は北の風が吹いてきたので出なくて良かったです。

１０月３日　酒田港から粟島漁港

　曇　風向Ｓ～ＮＷ　風速３～１２ノット　航程３８．７マイル

　昨日と風が変わり南よりの軽風です。うねりもなく快適でした。早めに粟島に着きたかったので６時過ぎに出港し１４過ぎに粟島に入港することができました。綺麗な島らしいのでゆっくりしたいのですが温泉で我慢して明日の佐渡行きに備えました。

１０月４日　粟島漁港から佐渡の赤泊漁港
曇後晴　風向Ｓ～凪　風速５～８ノット　航程５４．２マイル

１０月５日　レンタカーで佐渡を観光しました。

１０月６日　佐渡の赤泊漁港から対岸の能生漁港
晴　風向ＮＷ～ＳＳＷ　風速３～８ノット　航程５０．７マイル
ここでＷＩＮＤＹのメンバーの福岡さんが乗船し輪島で下船しました。

１０月７日　能生漁港から能登小木港
晴　風向ＮＷ　風速５～８ノット　航程３７．９マイル
１０月８日
台風１５号が接近したので動かず様子を見ました。

１０月９日　能登小木港から輪島港
曇　風向ＮＷ　風速３～１０ノット　航程４１．１マイル

１０月１０日　休養日。福岡さん下船。

１０月１１日　輪島港から滝港マリーナ
　晴　風向ＳＷ　風速５～８ノット　航程４４．１マイル

１０月１２日　滝港マリーナから橋立漁港
　曇　風向ＳＳＥ～Ｎ　風速３～１８ノット　航程３９．７マイル
　やっとネットが繋がったので溜まったブログを必死でアップし出港しました。それなので７時過ぎというよりは８時前の出港になってしまいました。それでも昼頃には金沢を通過し順調に目的の橋立漁港に向って進みました。しかし昼過ぎると南寄りの風が北寄りに変わり１５ノットオーバーの強風になりました。フリーですがうねりが出てきてローリングが激しくなってきました。何とか橋立漁港に入り込みホッとしました。岸壁に漁組の方が居たので指示に従って防波堤の内側に係留しました。漁組の事務所に行くと先程の方は業務課長で気象ファックスをコピーしてくれて明日は時化るよと言われました。ここは北前船の寄港地なのでその時は資料館を見物しようかと思っていたらその通りになりました。

１０月１３日　日和待ち
　午後は橋立の街中に北前船の里資料館を訪ねました。船主の屋敷を資料館にしたもので興味深い資料が一杯でした。最後の頃は西洋式のスクーナーだったそうです。街全体が船主の屋敷跡が点在し風情を感じました。

１０月１４日　橋立漁港から鷹巣漁港
　曇時々晴　風向ＮＥ　風速３～５ノット　航程２０．５マイル
　今日は近いですが情報によると漁組が親切ですぐそばに国民宿舎の温泉がある鷹巣漁港に向かいました。昼前に入港し漁組に行くと係留した泊地は避難場所にしているからＯＫだということでした。出る前に隣の岸壁で水を補給すれば良いとも言ってくれました。夏場のシーズンは良くヨットが寄港するらしいです。市のヨット協会もありＯＰディンギーで子供が練習していました。

１０月１５日　日和待ち

１０月１６日　鷹巣漁港から敦賀港
　晴　風向ＮＥ～凪　風速５～８ノット　航程３４．２マイル
　１５日は北の風が上げてきそうだったので待機することにしました。正解でした。今朝は沖の白波も消えてしまいました。隣の岸壁で山水を補給し８時に出港しました。北東の風がすぐに落ちて南西の風に変わり最後は凪いでしまいました。越前岬を通過して若狭湾に入り敦賀港に１５時に入港しました。敦賀港では以前勤めていた会社の仲間と旧交を温めます。数日滞在する予定でした。

１０月２２日
　今日で丁度一週間の滞在になってしまいました。寄港して三日目くらいから海が荒れてきてどうしようもありません。だいぶ静かになってきたので明日は出港する予定です。あせらない、あせらない！！

１０月２３日　敦賀港から伊根港

曇時々晴　風向Ｅ～ＮＮＥ　風速３～１２ノット　航程４８．９マイル
６時過ぎに一週間も長居してしまった敦賀港を出港しました。敦賀の旧知の皆さんの熱いもてなしには感謝感激でした。久しぶりのオアシスでした。敦賀湾を出て若狭湾を横切る頃にはうねりが出だして北東の風が８ノット程度でフリーの機帆走ですが艇が振られて苦労しました。それでも１５時過ぎに予定通り伊根港に入港できました。伊根港は聞いていた通り天然の良港で静か過ぎるくらいです。観光船の人がコーナーに係船すれば振れ止めの舫いが取れるから「ぐっすり寝むれるよ」と言われましたがその通りでした。静かで美しい港なのでもう一泊して見物したかったですが明日も天気が良さそうなので残念です。

１０月２４日　伊根港から柴山港
晴　風向ＮＥ～Ｎ　風速５～８ノット　航程４１．４マイル
今日も天気は晴で北東の順風の中夜が明けて６時過ぎに出港しました。丹後半島をぐるりと回るのですが随所に定置網があり気をつけながら回りました。経ヶ岬を回ると完全にフリーで昨日同様にうねりはありますが順調に進み柴山港に入港しました。ここも港口が狭く天然の良港です。明後日から天候が崩れそうなので次の鳥取港に進まずここでまたしばらく天候待ちをすることにしました。夜には地元のヨット関係者の方が来て色々と情報をもらいました。

１０月２５～２８日　休養と日和待ち。

兵庫香住のヨットマン吉津さんの計らいで南日本海ヨット連絡協議会に参加させて頂き香住港の旅館でのカニすき懇親会にも参加させてもらいました。境港、鳥取、香住それぞれのフリートのヨットマンの集まりで楽しい一晩でした。隠岐の情報もキッチリ頂きました。

１０月２９日　柴山港から鳥取港

曇時々晴　風向ＳＷ～Ｎ　風速５～２０ノット　航程２８マイル

今日は午後からの前線通過前に鳥取港に入るつもりで６時過ぎに出港しましたが、昼前から風が上げてきてようやく１５時過ぎに鳥取港に入りました。雨や風でずぶ濡れになり散々な一日でした。やはり無理は禁物シンドイだけでした。

１０月３０日　鳥取港から境港公共マリーナ

曇時々晴　風向ＳＷ～ＮＥ　風速３～８ノット　航程４６．４マイル

６時過ぎに鳥取港を出港しました。昨日雨が降ったせいか岸壁の前の市の港湾局の方の係留料の徴収はありませんでした。夜に来てくれた地元のヨットの方が来なければよしと言われたので幸運でした。風は落ちましたがうねりは残っていました。しかし曇空の中晴れ間も見えて順調に進みました。三保湾に入り弓ヶ浜と境港港の境目にある境港公共マリーナに入港しました。マリーナではヨットオーナーの山根さん中嶋さんが迎えてくれました。教えてもらっていた港口の砂で浅くなった所に注意して防波堤沿いに入港しました。内部は静かで日本一周艇が留めるクラブハウスの前の岸壁でした。バウとスターンにアンカーロープが取れるように用意されているので岸壁から離せてフェンダーもいらないくらい快適でした。

１０月３１日　休養日

１１月１日　日和待ち

中嶋さんには風呂や食事の歓待をして頂きました。今日は水、油の補給を済ませたら車で大山を案内してもらいました。本当にマリーナの方の御好意に感謝です。

１１月２日　境港公共マリーナから隠岐菱浦港

曇時々晴　風向Ｎ～ＮＮＷ　風速３～８ノット　航程４１．９マイル

昨日１日は出港準備をしていましたが隠岐の三度埼で１３ｍの風を確認して即待機にしました。今日は６ｍで落ちてくる予報なので７時過ぎに出港しました。境港公共マリーナを出て三保関の岬を回ると北西の風で５～８ノットで完全な向い風、機帆走で頑張りましたが１６時過ぎにようやくたどり着きました。菱浦港は島前の中ノ島にあり四方を島に囲まれて本当に静かな港です。近くにフェリーターミナルや入浴できるホテル、食堂、商店もあり便利な場所です。境港公共マリーナでのヨット仲間が一番薦める港なので、ここをベースに観光することにしました。ここでも中嶋さんの連絡で地元の世話人が来られてお世話になることになりました。

１１月３、４日　観光日

隠岐の中ノ島と知夫里島を観光して回りました。

３日は地元の方に借りた車で隠岐神社から金光寺山、明屋海岸、木路ヶ崎と見て回りました。４日は隣の知夫里島（ちぶりとう）に連絡船で渡り徒歩で島をぐるりと回りました。自然が残る美しい島で堪能しました。途中の道に放牧中の大きくて真っ黒い隠岐牛がいて最初はそばを通るのに勇気がいりました。赤

壁と赤ハゲ山から島の北側まで回ったので３０ｋｍ近く歩いたのでくたびれて多少腰が痛くなりました。

１１月５日　休養日

１１月６、７日　日和待ち

１１月８日　隠岐菱浦港から島根大社町の鷺浦港
　晴　風向凪～ＳＥ　風速５～８ノット　航程５５．２マイル
　隠岐を離れる際は国賀海岸と赤壁を海から眺めるように言われていたので港を出て北側に回り道をしました。東寄りの風で順風が幸いし美しい景観を味わうことができました。鷺浦港は天然の良港で入ると戻ってきた漁船がすぐに係留場所を手指ししてくれました。係留が終わると若い漁師さんがやって来て「港の管理をしていますが、ここは大丈夫ですから安心してください」と言われました。さらに地元の御老人が街を案内したいと言ってきました。９０歳前のボランティアガイドの資格を持つお元気な方です。北前船のゆかりある歴史のある街だそうなので翌朝の案内をお願いしました。

１１月９日　鷺浦港から温泉津港

晴　風向Ｅ～ＮＥ　風速３～１２ノット　航程２９．１マイル

鷺浦港の街を案内してもらったので遅めの９時に出港しました。風は今日も東の順風なので順調に１５時過ぎに温泉津港に入港しました。漁協に承諾を得て突堤に係留しました。しかし翌日に天候が悪くなりだしたので突堤のさらに内側の漁船の並びの中に入れてもらいました。漁港の方は皆さん良くしてくれました。

１１月１０日　観光日

近くの石見銀山を観光しました。自然そのままに保存された世界遺産でした。実は温泉津港と温泉津の温泉街も石見銀山の世界遺産指定地域の一部でした。銀山の流通ルートにあたるので指定されたそうです。認識を新たにして散策します。しばらく荒天で待機ですから。

１１月１１日～１３日　日和待ち

１１月１４日　温泉津港から江崎港

晴　風向Ｓ～Ｗ　風速３～１２ノット　航程４４．７マイル

ようやく日本海の怒りがおさまり６時過ぎに出港しました。南風の順風の中１５時過ぎに隣山口県の江崎港に入りました。この港はこれまた天然の良港で入って直角に左に曲がって進むと泊地があり湖のように静かでした。ただし中が広いので漁船の引き波がひどく槍付けにしました。でも夜は全く揺れず快適でした。徒歩で２０分ほどかかりましたが町営温泉があり地元産の食事もできました。これまたしばらくのんびりしたい港で残念でした。

１１月１５日　江崎港から長門市の湊漁港

晴　風向Ｎ～ＮＷ　風速５～８ノット　航程３３．６マイル

目的地が近いので８時過ぎに出港しました。久しぶりのアンカー引き上げにも苦労しました。今日は北西ですが順風で岬をかわすと島の多い萩湾に入り青海島を回って深川湾に入り湊漁港に入港しました。ここは函館で知り合った「さうす」の山分さんの案内で入りました。有名な仙崎漁港の西隣です。毎年この付近でヨットレースをしているそうです。夕方仕事帰りに寄ってくれて近くの湯本温泉に連れて行ってもらいました。

１１月１６日　日和待ち

１１月１７日　湊漁港から室津フィッシャリーナ
　晴　風向Ｓ～ＳＷ　風速５～１５ノット　航程３３マイル
　ようやく風がおさまり南風に変わったので６時過ぎに出港しました。川尻岬までは順調でしたがこの岬から西の白波が立つ強風が吹き出しおまけに真上りで苦労しました。予定より大幅に遅れ日没間際に目的地室津フィッシャリーナへ滑り込みました。丁度土曜日で「ひびき帆走クラブ」の有志で開かれた名物「瓦そば」の宴会にゲスト参加させて頂きました。
１１月１８日　日和待ち

１１月１９日　室津フィッシャリーナから宇部港
　晴　風向Ｓ～Ｅ　風速３～８ノット　航程３９マイル
　１８日までは北西の風が吹きまくりましたがおさまったので関門の潮止まりをめがけて９時過ぎに出港しました。南寄りの風で関門に入ると微風でした。地元のヨットマンに教えて頂いたとおり橋の手前で航路を横切り門司側を進んで橋を抜けてまた航路を横切り宇部港へ向かいました。大型船の往来が激しく浦賀水道のようにセンターブイのない狭いＳ字カーブの関門航路でスリリングでした。連れ潮のマックスに乗ると対地速度１０ノットを超えて快調だそうです。
宇部港の「さうす」のホームポートに係留させてもらってしばらく一週間ほど実家や友人宅を訪ねて歩く休暇に入りました。温泉たっぷりの日本海が終わり九州南下に備えるつもりでした。
　結局航海は来年春３月過ぎに再開することにしました。カプリは宇部港にしばらく置かせて頂いて、東京の自宅に戻って休養しました。

No Sailing, No Life !

水産学部卒業　近藤　大

まず最初に、貝原宗重さん、岡田昌一郎さんをはじめ OBOG さんの方々、同期、後輩のみんなや応援してくださった方々には本当にお世話になりました。4 年間本当にありがとうございました。

自分が入部したての頃は、自己中で無礼で嫌なやつで...OBOG さん方には本当にご迷惑おかけしました。そんな失礼な人間でしたが、竹内健さんや山さん（山本茂晴さん）などの優しい先輩方のおかげで 4 年間ヨット部を楽しむだけでなく、人として成長できました。本当にありがとうございました。

1 年のころは当時 4 年の日向さんと一緒に乗せていただき基礎の基礎を叩き込まれました。正直あの頃は、何もわからなかったので日向さんにマーク回航のコツや帆走について教わるものの全く理解できてなかったです。すみません笑

2 年はコロナ禍で大会に一切出られず、また自分たちの未熟さゆえ、色々な面で後悔ばかりの年でした。

3 年次、ようやく大会には出られるようにはなったものの結果は伴わず、なぜ速く走れないのか月曜の授業は無視し全部ヨットの反省に使いました。火曜以降もヨットに全てをささげた生活をしていました。また, 1 年の時からペアを組ませていただいたひかり先輩が引退しました。お世話になった先輩が引退するのは本当に悲しく、自分もあと一年ということに寂しさを感じました。

4 年次、ラストイヤーには一年は大勢入部してくれました。団体戦予選の 6 レースのうちのたった 1 レースではありまずが、初めてシングルをとりました。4 年間で一番嬉しかった瞬間でした。自分と一緒に組んでくれた浜田君ありがとう！！4 年にしてようやくセッティングが分かりボートハンドリングをマスターし、速く走れるようになって一番楽しい 1 年間でした。

4 年間は短く長いものでした。まるで強風時のスナイプクルーのクローズのように。

繰り返しにはなりますが、貝原さんをはじめ OBOG さんの方々、そして山さん日向さんなど 16 の先輩方、やーさん（川上先輩）を始め 18 の先輩方、一石さん（神奈川大コーチ）芝さん（帆友会)、同期のはま D、ゆい P、Leonardo da Vinci 君には感謝してもしきれないです。他にも本当に大勢の方々にお世話になりました。色々な方々のおかげで大学生活 4 年間を充実して過ごすことができました。本当にありがとうございました。

来年からは、自分たちも OB として現役をサポート出来たらと思っております。

後輩へメッセージ。

ヨットを速くするにはセールは浅い方がいいとか色々あるけど、とりあえず酒を飲めばヨットは速くなるぞ！！

色々悩むことがあると思うけど、それは OB も現役時同じ悩みを持っていました。部活辞めたくなる時もあるかもしれないけど、4 年間続けたら色々良かったと思えることもあると思います。

子々川風吹かねーっていう悩みはどうしようもありません。小戸で練習しましょう。

4 年間を振り返って

水産学部卒業　廣江　佑衣

新入生歓迎の時期、特に部活に入るつもりがなかった私は、先輩にご飯奢ってもらえるよの言葉に惑わされ、ヨット部の試乗会へ行きました。そこで初めてヨットというものに出会い、こんな艇を自由自在に操れたらなんてかっこいいんだろう、やってみたい！と軽い気持ちで入部を決めました。その後、ヨット部での 4 年間はあっというまに過ぎていきました。コンパがあり、コロナがあり、大会に出てるなど様々なことを初めて経験しました。その中で印象に残ってることはなんだろうと振り返ってみると、みんなと夜に臨海研修所で騒いだこと、一緒にご飯を食べたこと、海に飛び込んではしゃいだこと、冬に部活へ行きたくないと嘆きながら子々川の道を歩いたこと、でもやっぱりヨットに乗ったら楽しいねって話したことなど、みんなが笑っている場面ばかり思い浮かびます。時には辛いことや、部活の運営が上手くいかなかったことは多々ありましたが、本当に心から楽しいと思うことばかりで、同期や後輩のみんなには感謝しても仕切れません。このような経験は大学生でしかできないのだろうと思う反面、もう、あの頃みたいにみんなとわいわいできないのかと思うと、なんか少し泣けてきます。もっとこうすればよかったのかなとか、悔いが 1 つもないと言ったら嘘になります。でもこの同期、後輩達だったからこそ 4 年間頑張ってこれたことは胸を張って言えます。本当にありがとうございました。

最後にはなりますが、右も左も分からなかった私をここまで成長させてくださった OB、OG の方。本当にお世話になりました。4 年間、こんなにも周りに恵まれていたことを今になって大変実感しております。この場を借りて深く感謝申し上げます。まだまだ未熟者ではございますが、これからの活躍も引き続き応援して頂けたら嬉しいです。

長大ヨット部で本当でよかったです。また子々川で会いましょう！

ヨット部卒業

水産学部卒業　濱田　翔太

長崎大学水産学部海洋生産管理学コース 4 年の濵田翔太です。この度、2023 年 3 月をもちまして長崎大学を卒業いたしました。ヨット部では 4 年間、470 級のスキッパーおよび琴風係として活動して参りました。大会で優秀な成績を残すことは最後まで叶いませんでしたが、ヨット部で過ごした時間はかけがえのないものになったと実感しております。

4 年間を通して常に順風満帆とはいかず、コロナウイルスの影響で部活そのものが出来なくなり、部員数も減って部の活気が失われてしまった時期もありました。ですが、現在は宿泊が許可されて新入生も沢山見学に来てくれるようになり、子々川にどんどん活気が戻ってきた様子を見ると、非常に感慨深い思いです。これからのヨット部を担っていく後輩の皆さんも、これから様々な困難が待っているかと思います。ですが、我らがヨットは逆風でも前に進むことができる乗り物です。皆さんも逆風の中であっても、最後まで頑張ってくれたらなと思っています。

私は引き続き大学院生として長崎に残りますので、長崎にいる間は可能なかぎり顔を出して、部をサポートしていけたらと考えていますので、今後ともよろしくお願いいたします。

最後になりますが、ご支援いただいた OB の皆様、お世話になった先輩方、ヨット部に入ってくれた後輩の皆さん、そして 4 年間を共に過ごした同期の皆にこの場をお借りして御礼申し上げます、ありがとうございました。

以上をもちまして、卒業の言葉とさせていただきます。

2022年度　長崎大学ヨット部活動報告

	活動	開催場所
5月3日～5日	西日本ヨットウイーク	小戸ヨットハーバー （福岡）
7月2日～3日	九州学生ヨット選手権大会個人戦	小戸ヨットハーバー （福岡）
7月9日～10日	九州470選手権	小戸ヨットハーバー （福岡）
9月23日～25日	九州学生ヨット選手権大会団体戦	鹿屋体育大学 海洋スポーツセンター
10月29日～ 10月30日	長崎県民体育大会	福田サンセットマリーナ （長崎）

琴風会皆様の艇搬送援助（530,860円）により、多くのレースに参加することができました。成績表にありますよう、とても悔しい結果が続いています。皆様の援助に応えられますよう一層の練習に励みます。

現役一同

2022年度西日本学生ヨット選手権大会(団体戦)

令和4年5月3日(火)～5日(木)

福岡市ヨットハーバー

最終成績

国際４７０級

艇順位	識別#	Sail#	所属	艇長	クルー	1R			2R			3R			4R			5R			6R			7R			艇			艇順位	団体得点	団体順位
						着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	合計	除外	得点			
5	4	4759		北方 雄吾	安藤 司	5	5	5	4	4	4	5	5	5	7	7	7	3	3	3	3	3	3	5	5	5	32	7	25	5		
2	5	4758	日本経済大学	濵田 登羽	松尾 勇輝	2	2	2	5	5	5	4	4	4	3	3	3	2	2	2	2	2	2	9	9	9	27	9	18	2	86.0	1
6	6	4634		糸瀬 雅玖翔	中村 豪太	10	10	10	12	12	12	7	7	7	5	5	5	12	12	12	6	6	6	3	3	3	55	12	43	6		
8	8	4717		山下 龍司	伊井 宏樹	3	3	3	7	7	7	8	8	8	9	9	9	11	11	11	9	9	9	8	8	8	55	11	44	8		
15	9	4597	九州大学	久保 春喜	金子 朔也	14	14	14	16	15	15	16	16	16	14	14	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13	98	16	82	15	169.0	2
7	10	4556		錦見 昇之介	上野 大一	9	9	9	10	10	10	10	10	10	6	6	6	4	4	4	8	8	8	6	6	6	53	10	43	7		
10	13	4712		五嶋 杏莉	松尾 和樹	7	7	7	15	RET	23	9	9	9	10	10	10	9	9	9	7	7	7	12	12	12	77	23	54	10		
9	14	4683	福岡大学	徳丸 凪	春山 祥輝	8	8	8	6	6	6	6	6	6	11	11	11	8	8	8	11	11	11	11	11	11	61	11	50	9	190.0	3
16	15	4542		藤田 奏音	足立 健太郎	15	15	15	14	14	14	13	13	13	16	16	16	16	16	16	14	14	14	14	14	14	102	16	86	16		
17	17	4480		武田 宙大	樋渡 卓也	17	17	17	17	16	16	17	17	17	18	18	18	18	18	18	16	16	16	17	17	17	119	18	101	17		
20	18	3813	西南学院大学	上田 周平	原田 宇彩	18	18	18	18	17	17	18	18	18	19	19	19	20	20	20	20	20	20	20	20	20	132	20	112	20	342.0	4
22	19	4172		坂門 寛太	金田 陽登	21	21	21	DNC	DNC	23	DNC	DNC	23	22	22	22	21	21	21	21	21	21	21	21	21	152	23	129	22		
18	11	4307	九州大学	石井 春樹	津田 拓実	22	22	22	19	18	18	19	19	19	17	17	17	19	19	19	19	19	19	18	18	18	132	22	110	18		
11	12	4468	九州大学	河原 仁志	金子 壮太	12	12	12	11	11	11	11	11	11	15	15	15	7	7	7	12	12	12	7	7	7	75	15	60	11		
13	20	4467	鹿屋体育大学	北 修紋	中蘇 賢匠	11	11	11	8	8	8	15	15	15	12	12	12	17	17	17	17	17	17	10	10	10	90	17	73	13		
12	21	4407	鹿屋体育大学	山口 里真	野上 諒	16	16	16	9	9	9	14	14	14	8	8	8	10	10	10	10	10	10	16	16	16	83	16	67	12		
21	16	4121	宮崎大医学部	原 高志	橋本 咲	20	20	20	DNF	DNF	23	21	21	21	21	21	21	22	22	22	22	22	22	22	22	22	151	23	128	21		
19	22	4453	長崎大学	金城 伶旺	小倉 直人	19	19	19	UFD	UFD	23	20	20	20	20	20	20	15	15	15	18	18	18	19	19	19	134	23	111	19		
14	7	4541	日本経済大学	関 蒼太	宮﨑 朝光	13	13	13	13	13	13	12	12	12	13	13	13	14	14	14	15	15	15	15	15	15	95	15	80	14		
3	1	4423	医療法人才全会	上村 史朗	磯崎 哲也	4	4	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	5	5	5	4	4	4	4	4	4	23	5	18	3		
4	2	4423	七洋会	小村 凛平	木原 寛太	6	6	6	3	3	3	3	3	3	4	4	4	6	6	6	5	5	5	2	2	2	29	6	23	4		
1	3	55	CABO'S GRUOP / (株) ビアソンマリンジャパン	吉田 愛	木村 直矢	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	1	6	1		

レース日	3-May-22	3-May-22	3-May-22	4-May-22	4-May-22	4-May-22	5-May-22
天候	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ
風向	355°	355°	355°	345°	340°	355-10°	340-350°
風速(kt)	10-11kt	10-12kt	10-11kt	10-11kt	10-12kt	9-11kt	6-8kt
スタート時刻	13:05:00	14:12:00	15:20:00	12:05:00	13:15:00	14:30:00	11:22:00
最初の艇フィニッシュ時刻	13:41:01	14:46:04	15:58:29	12:42:26	13:51:03	15:10:35	12:01:06
レース終了時刻	13:53:25	15:01:04	16:08:13	12:55:08	14:04:42	15:22:31	12:08:10
参加艇数	22 艇	22 艇	22 艇	22 艇	22 艇	22 艇	22 艇
出走艇数	22 艇	21 艇	21 艇	22 艇	22 艇	22 艇	22 艇

レース委員長 岡村 勝美

プロテスト委員長 岡部 幸司

テクニカル委員会 富迫 剛

記録部長 吉留 容子

PITA RIZA
Scoring Software

2022年度九州学生ヨット選手権大会(個人戦)

令和４年７月２日（土）～３日（日）
福岡市ヨットハーバー

Final result

国際４７０級

Rank	識別#	Sail#	所　属	艇　長	クルー	Net	Total	R1	R2	R3	R4	R5	R6
1	5	4814	九州大学	錦見　昇之介	上野　大一	12.0	17.0	(5)	1	5	2	3	1
2	12	4759	日本経済大学	北方 雄吾	安藤　司	19.0	27.0	4	4	(8)	4	4	3
3	13	4758	日本経済大学	濵田 登羽	宮崎　朝光	20.0	31.0	1	(11)	3	6	5	5
4	8	4683	福岡大学	藤田 奏音	春山　祥輝	21.0	31.0	3	2	1	(10)	6	9
5	11	4634	日本経済大学	糸瀬 雅玖翔	松尾　勇輝	23.0	36.0	(13)	6	6	3	1	7
6	3	4717	九州大学	山下　龍司	伊井　宏景	26.0	37.0	8	3	7	(11)	2	6
7	7	4542	福岡大学	徳丸 凪	足立　健太郎	28.0	42.0	2	5	12	1	8	(STP 14)
8	6	4712	福岡大学	五嶋 杏莉	松尾　和樹	33.0	44.0	7	10	4	5	7	(11)
9	16	4407	鹿屋体育大学	山口　篤郎	野上　諒	36.0	50.0	6	(14)	10	7	9	4
10	14	4541	日本経済大学	関 蒼太	中村　豪太	37.0	50.0	10	7	2	8	10	(13)
11	15	4467	鹿屋体育大学	北　修紋	中鉢　賢匠	44.0	55.0	9	9	9	9	(11)	8
12	4	4597	九州大学	久保　春喜	金子　朔也	46.0	59.0	12	8	(13)	12	12	2
13	10	4453	長崎大学	金城　怜旺	小倉　直人	59.0	73.0	11	13	11	(14)	14	10
14	1	4480	西南学院大学	武田　宙大	樋渡　卓也	66.0	82.0	14	12	(16)	13	13	14
15	2	4172	西南学院大学	坂門　寛太	金田　陽登	74.0	90.0	15	15	14	15	(16)	15
16	9	4582	長崎大学	近藤　大	徳田　彩花	78.0	94.0	(16)	16	15	16	15	16

Race Committee Chairman	Katsumi Okamura
Protest Committee Chairman	Kiyoshi Tomimatsu
Technical Committee Chairman	
Recording Manager	Yoko Yoshidome

レース日	7/2	7/2	7/2	7/3	7/3	7/3
天　候	晴れ	晴れ	晴れ	曇り	曇り	曇り
風　向	340°	340°	270°	350°	345°	340°
風　速 (kt)	6kt	8kt	7kt	6kt	6kt	10kt
スタート時刻	12:35:00	13:50:00	16:48:00	11:40:00	13:10:00	14:30:00
最初の艇ﾌｨﾆｯｼｭ時刻	13:18:28	14:37:00	17:30:25	12:26:22	13:55:39	15:20:57
レース終了時刻	13:27:06	14:51:32	17:35:41	12:34:18	13:59:52	15:25:27
参加艇数	16 艇	16 艇	16 艇	16 艇	16 艇	16 艇
出走艇数	16 艇	16 艇	16 艇	16 艇	16 艇	16 艇

2022年度九州470級ヨット選手権大会

令和4年7月9日(土)～10日(日)
福岡市ヨットハーバー

PITA RIZA
Scoring Software

Final results

国際470 級

Rank	識別#	Sail#	所　属	艇　長	クルー	Skipper	Crew	Net	Total	R1	R2	R3	R4	R5	R6
1	24	JPN8	JSAF	岡田　奎樹	吉岡　美帆	Keiju Okada	Miho Yoshioka	7.0	10.0	(3)	1	3	1	1	1
2	25	JPN55	JSAF	吉田　愛	木村　直矢	Ai Yoshida	Naoya Kimura	10.0	16.0	2	2	1	2	3	(6)
3	26	JPN46	JSAF	高山　大智	盛田　冬華	Daichi Takayama	Fuyuka Morita	12.0	16.0	(4)	3	2	3	2	2
4	23	JPN4455	山口県セーリング連盟	小泉　颯作	三浦　匠	Shosaku Koizumi	Takumi Miura	24.0	33.0	1	5	(9)	7	7	4
5	21	4423	医療法人　才全会	藤田　奏音	磯崎　哲也	Kanon Hujita	Tetsuya Isozaki	30.0	41.0	5	8	4	5	8	(11)
6	27	JPN4127	JSAF	中山　由菜	池田　隼太	Yuna Nakayama	Shunta Ikeda	30.0	45.0	7	6	6	6	5	(15)
7	28	JPN3	JSAF	池田　海人	毛利　咲絵	Kaito Ikeda	Sae Mouri	41.0	58.0	9	4	8	12	(17)	8
8	13	4758	日本経済大学	濱田　登羽	宮崎　朝光	Towa Hamada	Asahi Miyazaki	45.0	62.0	14	15	(17)	9	4	3
9	3	4717	九州大学	山下　龍司	伊井　有景	Ryuji Yamashita	Hiroki Ii	47.0	76.0	8	7	7	(UFD 29)	12	13
10	17	4422	鹿屋体育大学/日本経済大学OB	北　修紋	今村　公彦	Shumon Kita	Kimihiko Imamura	51.0	80.0	6	(UFD 29)	5	UFD 29	6	5
11	6	4712	福岡大学	五嶋　杏莉	松尾　和樹	Anri　Goto	Kazuki Matsuo	56.0	74.0	16	(18)	14	4	13	9
12	12	4759	日本経済大学	北方　雄悟	安藤　司	Yugo Kitakata	Tsukasa Ando	57.0	74.0	13	(17)	10	17	10	7
13	18	4593	(医)六広会　チームエンタープライズ	種高　陽之助	近藤　瞭	Harunosuke Tedaka	Ryo Kondo	57.0	74.0	(17)	10	11	11	9	16
14	8	4683	福岡大学	池田　龍平	春山　祥輝	Ryuhei Ikeda	Shoki Haruyama	59.0	74.0	12	14	(15)	10	11	12
15	11	4634	日本経済大学	糸瀬　雅玖翔	松尾　勇輝	Gakuto Itose	Yuki Matsuo	61.0	80.0	10	11	18	8	(19)	14
16	5	4814	九州大学	錦見　昇之介	上野　大一	Shonosuke Nishikimi	Taichi Ueno	61.0	76.0	11	13	12	(15)	15	10
17	7	4542	福岡大学	徳丸　凪	足立　健太郎	Nagi Tokumaru	Kentaro Adachi	64.0	82.0	15	9	13	13	14	(18)
18	16	4407	鹿屋体育大学	山口　篤郎	野上　諒	Atsuro Yamaguchi	Ryo Nogami	85.0	114.0	18	12	16	20	(UFD 29)	19
19	14	4541	日本経済大学	関　蒼汰	中村　豪太	Sota Seki	Gouta Nakamura	89.0	111.0	19	(22)	21	14	18	17
20	22	4421	小戸	澤村　和慶	佐藤　拓海	Kazuyoshi Sawamura	Takumi Sato	96.0	125.0	(UFD 29)	16	19	16	PRP 25	20
21	4	4597	九州大学	久保　春喜	金子　朔也	Harunobu Kubo	Sakuya Kaneko	99.0	122.0	20	20	(23)	18	20	21
22	15	4467	鹿屋体育大学	山口　里真	中鉢　賢匠	Rima Yamaguchi	Kensho Nakabachi	107.0	136.0	21	19	20	23	(UFD 29)	24
23	19	4468	九州大学/九州大学OB	河原　仁志	金子　壮太	Hitoshi Kawahara	Sota Kaneko	109.0	138.0	22	24	22	19	22	(UFD 29)
24	1	4480	西南学院大学	武田　宙大	金田　陽登	Sorahiro Takeda	Haruto Kaneda	114.0	139.0	(25)	23	25	21	23	22
25	10	4453	長崎大学	金城　怜旺	小倉　直人	Reo Kinjo	Naoto Ogura	115.0	144.0	23	21	24	(RET 29)	24	23
26	2	4172	西南学院大学	坂門　寛太	種渡　卓也	Kanta Sakakado	Takuya Hiwatashi	121.0	147.0	24	25	(26)	25	21	26
27	20	4454	長崎大学	濵田　翔太	岡田　龍門	Shota Hamada	Tatsuto Okada	129.0	156.0	26	26	(27)	24	26	27
28	9	4582	長崎大学	廣江　佑衣	近藤　大	Yui Hiroe	Dai Kondo	130.0	159.0	(DNC 29)	DNC 29	DNC 29	22	25	25

Race Committee Chairman	Katsumi Okamura
Protest Committee Chairman	Koji　Okabe
Technical Committee Chairman	
Recording Manager	Yoko Yoshidome

Date	7/9	7/9	7/9	7/10	7/10	7/10
Weather	sunny	sunny	sunny	sunny	sunny	sunny
Wind direction	340°	340°	325°	345°	350°	350°
Wind speed(kt)	10kt	8kt	8kt	10kt	11.5kt	9kt
Start time	12:35:00	13:53:00	15:10:00	12:00:00	13:15:00	14:30:00
First finish time	13:14:18	14:36:51	15:57:58	12:24:48	13:55:11	15:17:59
End time	13:22:40	14:45:10	16:04:01	12:50:39	14:04:25	15:25:19
Entry(boats)	28	28	28	28	28	28
Sailed(boats)	27	27	27	28	28	28

2022年度九州470級ヨット選手権大会

PITA RIZA
Scoring Software

令和4年7月9日(土)～10日(日)
福岡市ヨットハーバー

Final results

国際470 級

Rank	識別#	Sail#	所　属	艇　長	クルー	Skipper	Crew	Net	Total	R1	R2	R3	R4	R5	R6
1	24	JPN8	JSAF	岡田　奎樹	吉岡　美帆	Keiju Okada	Miho Yoshioka	7.0	10.0	(3)	1	3	1	1	1
2	25	JPN55	JSAF	吉田　愛	木村　直矢	Ai Yoshida	Naoya Kimura	10.0	16.0	2	2	1	2	3	(6)
3	26	JPN46	JSAF	高山　大智	盛田　冬華	Daichi Takayama	Fuyuka Morita	12.0	16.0	(4)	3	2	3	2	2
4	23	JPN4455	山口県セーリング連盟	小泉　颯作	三浦　匠	Shosaku Koizumi	Takumi Miura	24.0	33.0	1	5	(9)	7	7	4
5	21	4423	医療法人　才全会	藤田　奏音	磯崎　哲也	Kanon Hujita	Tetsuya Isozaki	30.0	41.0	5	8	4	5	8	(11)
6	27	JPN4127	JSAF	中山　由菜	池田　隼太	Yuna Nakayama	Shunta Ikeda	30.0	45.0	7	6	6	6	5	(15)
7	28	JPN3	JSAF	池田　海人	毛利　咲絵	Kaito Ikeda	Sae Mouri	41.0	58.0	9	4	8	12	(17)	8
8	13	4758	日本経済大学	濵田　登羽	宮﨑　朝光	Towa Hamada	Asahi Miyazaki	45.0	62.0	14	15	(17)	9	4	3
9	3	4717	九州大学	山下　龍司	伊井　宥景	Ryuji Yamashita	Hiroki Ii	47.0	76.0	8	7	7	(UFD 29)	12	13
10	17	4422	鹿屋体育大学/日本経済大学OB	北　修叙	今村　公彦	Shumon Kita	Kimihiko Imamura	51.0	80.0	6	(UFD 29)	5	UFD 29	6	5
11	6	4712	福岡大学	五嶋　杏莉	松尾　和樹	Anri　Goto	Kazuki Matsuo	56.0	74.0	16	(18)	14	4	13	9
12	12	4759	日本経済大学	北方　雄悟	安藤　司	Yugo Kitakata	Tsukasa Ando	57.0	74.0	13	(17)	10	17	10	7
13	18	4593	(医)六広会　チームエンタープライズ	樋高　陽之助	近藤　瞭	Harunosuke Tedaka	Ryo Kondo	57.0	74.0	(17)	10	11	11	9	16
14	8	4683	福岡大学	池田　龍平	春山　祥輝	Ryuhei Ikeda	Shoki Haruyama	59.0	74.0	12	14	(15)	10	11	12
15	11	4634	日本経済大学	糸瀬　雅玖翔	松尾　勇輝	Gakuto Itose	Yuki Matsuo	61.0	80.0	10	11	18	8	(19)	14
16	5	4814	九州大学	錦見　昇之介	上野　大一	Shonosuke Nishikimi	Taichi Ueno	61.0	76.0	11	13	12	(15)	15	10
17	7	4542	福岡大学	德丸　凪	足立　健太郎	Nagi Tokumaru	Kentaro Adachi	64.0	82.0	15	9	13	13	14	(18)
18	16	4407	鹿屋体育大学	山口　篤郎	野上　諒	Atsuro Yamaguchi	Ryo Nogami	85.0	114.0	18	12	16	20	(UFD 29)	19
19	14	4541	日本経済大学	関　蒼汰	中村　豪太	Sota Seki	Gouta Nakamura	89.0	111.0	19	(22)	21	14	18	17
20	22	4421	小戸	澤村　和慶	佐藤　拓海	Kazuyoshi Sawamura	Takumi Sato	96.0	125.0	(UFD 29)	16	19	16	PRP 25	20
21	4	4597	九州大学	久保　春喜	金子　朔也	Harunobu Kubo	Sakuya Kaneko	99.0	122.0	20	20	(23)	18	20	21
22	15	4467	鹿屋体育大学	山口　里真	中鉢　賢匠	Rima Yamaguchi	Kensho Nakabachi	107.0	136.0	21	19	20	23	(UFD 29)	24
23	19	4468	九州大学/九州大学OB	河原　仁志	金子　壮太	Hitoshi Kawahara	Sota Kaneko	109.0	138.0	22	24	22	19	22	(UFD 29)
24	1	4480	西南学院大学	武田　宙大	金田　陽登	Sorahiro Takeda	Haruto Kaneda	114.0	139.0	(25)	23	25	21	23	22
25	10	4453	長崎大学	金城　伶旺	小倉　直人	Reo Kinjo	Naoto Ogura	115.0	144.0	23	21	24	(RET 29)	24	23
26	2	4172	西南学院大学	坂門　寛太	樋渡　卓也	Kanta Sakakado	Takuya Hiwatashi	121.0	147.0	24	25	(26)	25	21	26
27	20	4454	長崎大学	濵田　翔太	岡田　龍門	Shota Hamada	Tatsuto Okada	129.0	156.0	26	26	(27)	24	26	27
28	9	4582	長崎大学	廣江　佑衣	近藤　大	Yui Hiroe	Dai Kondo	130.0	159.0	(DNC 29)	DNC 29	DNC 29	22	25	25

Race Committee Chairman	Katsumi Okamura
Protest Committee Chairman	Koji Okabe
Technical Committee Chairman	
Recording Manager	Yoko Yoshidome

Date	7/9	7/9	7/9	7/10	7/10	7/10
Weather	sunny	sunny	sunny	sunny	sunny	sunny
Wind direction	340°	340°	325°	345°	350°	350°
Wind speed(kt)	10kt	8kt	8kt	10kt	11.5kt	9kt
Start time	12:35:00	13:53:00	15:10:00	12:00:00	13:15:00	14:30:00
First finish time	13:14:18	14:36:51	15:57:58	12:24:48	13:55:11	15:17:59
End time	13:22:40	14:45:10	16:04:01	12:50:39	14:04:25	15:25:19
Entry(boats)	28	28	28	28	28	28
Sailed(boats)	27	27	27	28	28	28

Results Soft
ぴたリザ

2022年度　九州学生ヨット選手権大会（団体戦）

2022年9月23日（金）～9月25日（日）

鹿児島県鹿屋市　鹿屋体育大学海洋スポーツセンター

最終成績

国際４７０級							1R			2R			3R			4R			5R			6R			艇			艇	団体	団体
艇順位	Ent#	Sail#	Hull#	大学名	艇　長	クルー	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	合計	除外	得点	順位	得点	順位
1	1	4712	4712		五嶋　杏莉	松尾　和樹	5	5	5	3	3	3	1	1	1	3	3	3	3	3	3	1	1	1	16		16	1		
4	2	4683	4683	福岡大学	藤田　奏音	春山　祥輝	7	7	7	5	5	5	3	3	3	5	5	5	5	5	5	2	2	2	27		27	4	68.0	1
3	3	4542	4750		徳丸　凪	足立　健太郎	1	1	1	7	7	7	6	6	6	1	1	1	6	6	6	4	4	4	25		25	3		
5	10	4758	4758		濱田　登羽	宮崎　朝光	9	9	9	1	1	1	2	2	2	7	7	7	4	4	4	8	7	7	30		30	5		
2	11	4759	4759	日本経済大学	北方　雄吾	安藤　司	2	2	2	4	PRP	9	4	4	4	4	4	4	2	2	2	3	3	3	24		24	2	90.0	2
7	12	4800	4800		糸瀬　雅玖翔	中村　豪太	8	8	8	2	2	2	7	7	7	6	6	6	7	7	7	6	6	6	36		36	7		
9	4	4814	4814		錦見　昇之介	伊井　宏景	4	4	4	6	6	6	8	8	8	8	8	8	9	9	9	7	DSQ	16	51		51	9		
6	5	4717	4717	九州大学	山下　龍司	金子　朔也	6	6	6	8	8	8	5	5	5	9	9	9	1	1	1	5	5	5	34		34	6	124.0	3
8	6	4597	4597		久保　春喜	上野　大一	3	3	3	9	9	9	9	9	9	2	2	2	8	8	8	9	8	8	39		39	8		
11	13	4582	4582		近藤　大	浜田　康平	OCS	OCS	16	13	13	13	11	11	11	11	11	11	10	STP	12	10	9	9	72		72	11		
15	14	4454	4454	長崎大学	原　雅治	德田　彩花	13	NSC	16	15	NSC	16	DNF	DNF	16	DNF	DNF	16	DNC	STP	16	DNF	DNF	16	96		96	15	232.0	4
10	15	4453	4453		金城　伶旺	小倉　直人	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	12	STP	14	11	10	10	64		64	10		
12	7	4480	4480		武田　宙大	釜山　大輝	11	11	11	11	11	11	DNF	DNF	16	14	14	14	14	STP	16	12	11	11	79		79	12		
14	8	4172	4172	西南学院大学	坂門　寛大	山田　航輝	12	12	12	14	14	14	DNF	DNF	16	12	12	12	13	STP	15	14	13	13	82		82	14	243.0	5
13	9	3813	3813		上田　周平	金田　陽登	OCS	OCS	16	12	12	12	DNF	DNF	16	13	13	13	11	STP	13	13	12	12	82		82	13		

		レース日	23-Sep-22	23-Sep-22	24-Sep-22	24-Sep-22	24-Sep-22	25-Sep-22
		天　候	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ
		風　向	220°	210°	310°	200°	210°	100°
レース委員長	坂口　陽平	風　速 (kt)	7kt	12kt	5-6kt	5-6kt	11kt	8-9kt
		スタート時刻	14:00:00	15:20:00	11:25:00	15:05:00	16:20:00	10:05:00
プロテスト委員長	岡部　幸司	最初の艇フィニッシュ時刻	14:37:03	16:01:02	12:22:56	15:48:14	16:58:08	10:47:26
		レース終了時刻	14:46:18	16:13:57	12:37:56	16:03:14	17:05:34	11:02:26
記録部長	松本　雄一郎	参加艇数	15 艇	15 艇	15 艇	15 艇	15 艇	15 艇
		出走艇数	15 艇	15 艇	15 艇	15 艇	14 艇	15 艇

長崎大学ヨット部琴風会会則

第一条　本会は長崎大学ヨット部卒業生間の親睦交流及び長崎大学ヨット部の後援を目的とする。

第二条　本会は長崎大学ヨット部卒業生及び長崎大学ヨット部に功績のあった者で本会総会で承認された者より構成される。

第三条　本会に会長一名、副会長一名、役員若干名、会計一名、顧問数名を置く。

第四条　会長・副会長・役員・会計・顧問は総会の互選又は推薦による。

第五条　会長は総務を司り副会長はこれを補佐する。
役員は毎卒業年度の会員との連絡を密にし会の運営を司る。

第六条　役員会は会長の意のもとに任時かいさいする。
本会の運営は総会及び役員会の議決による。

第七条　毎年夏期に総会を開催する。その際、新年度の役員を改選し会計報告を行う。

第八条　第一条の目的の為、OB レース・クルージング、現役部員と共に合宿訓練などを行う。

第九条　会計は会員の会費及び寄付金によって運営する。
会費は年間五千円とし、会計年度は 4 月から 3 月までとする。

第十条　本会の名称を琴風会と称し、事務所は福田ゆたか外科医院とする。

第十一条　5 年以上会費未納の場合は「琴風」の発送を停止する。但し、その後会費納付の際はその限りにあらず。
70 歳を超える会員については、会費納入は任意とする。

琴風会役員(2023年)

役　職

会　長	肥田　剛一（昭和56年入部）
副会長	池田　まゆみ（平成11年）　　田井　隆之（平成11年）
顧　問	福田　豊（昭和43年）　　盈　辰博（昭和47年）
ヨット部顧問	林　日出喜（昭和52年）
ヨット部監督	岡田昌一郎（昭和52年）
事務局	貝原　宗重（昭和52年）
ヨット部 安全管理	肥田　剛一（昭和56年）　救助艇琴風2号
ヨット部コーチ	田井　隆之（平成11年）　　特任コーチ：大熊　典子（平成11年） 若杉　春彦（平成21年）　　矢頭　宏一（平成23年） 竹内　健（平成24年）　　川上　裕生（平成30年） 金城　伶旺（令和1年）　　近藤　大（令和1年） 濱田　翔太（令和1年）

支部会

関東	支部長：江口　和哉（昭和54年）	副支部長：齊藤 賢治(平成9年)
関西・中部	支部長：綾部　洋一（昭和55年）	副支部長：伊藤祐介（平成6年）
	副支部長：宮崎新治(昭和55年)	副支部長：満永宙矢（平成12年）
中国四国	支部長：中尾　剛規（昭和54年）	副支部長：宅見康宏（平成17年）
北部九州	支部長：島崎　勲（昭和54年）	副支部長：益富　ゆか（平成22年）
	副支部長：中原　剛志（昭和57年）	副支部長：吉岡　茉耶（平成23年）
南部九州	支部長：畑田　英樹（昭和56年）	副支部長：森　一郎（平成26年）
東北北海道	支部長：中島　貴史（平成21年）	副支部長：斉藤衣里子（平成22年）
離　島	支部長：須崎　寛和（平成20年）	副支部長：粟飯原　康佑（平成20年）
名簿・琴風誌 担当	貝原　宗重（昭和52年）	北村　徹　（昭和61年）
	肥田　剛一（昭和56年）	池田　まゆみ（平成11年）

編集後記

創部70周年を迎え沢山の原稿をいただき賑やかな琴風誌ができました。
Web版では、写真をカラーで掲載しています。スマートフォン・PCで“長崎大学ヨット部琴風会”にアクセスいただき、楽しい写真をご覧ください。

皆様の寄稿を楽しみにしております。また、琴風誌について、ご意見・ご希望を是非お寄せください。

貝原　宗重

2023年5月記

十八親和銀行　大学病院前支店　（普）30408　琴風会
ゆうちょ銀行　口座番号　01890-2-42326　琴風会

琴風50号

印刷発行　令和5年6月吉日
発 行 所　長崎大学ヨット部琴風会
編　　集　長崎大学ヨット部琴風会事務局
印 刷 所　石田コピーセンター（株）長崎市飽の浦町7－1

連 絡 先　琴風会事務局　貝原宗重
〒852-8061 長崎市滑石5－16－6
☎ &FAX：095－857-7973